# 大学番号 026

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1

事前伺い

東京農工大学 工学部 生体医用システム工学科 注2

# 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 国立大学法人東京農工大学 令和3年5月1日現在

東京農工大学:作成担当者

担当部局(課)名 総務·経営企画部総務課

職名・氏名 副課長 松本 健生

電話番号 042-367-5505

(夜間) 042-367-5505

e — mail houki@ml.tuat.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程) |
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

$\overline{}$	ᆇ	立	Π
丄	5	$\overline{}$	Ľ

<生	(体医用システム工学科>	^°−	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 1
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	14
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	29
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	30
<別	添資料>		
資料	1 東京農工大学グローバル教育院運営規則 ・・・・・・・・・・	•	32

# 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京農工大学

- (2) 大 学 名 東京農工大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒184-8588: 東京都小金井市中町二丁目24番16号 (〒183-8538: 東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

# (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学 長	(オオノ ヒロユキ) 大野 弘幸 (平成29年4月)	(チバ カズヒロ) <b>千葉 一裕</b> (令和2年4月)	前学長の任期満了に伴う学 長の変更(2)
学 部 長	(ミサワ カズヒコ) <b>三沢 和彦</b> (平成29年4月)		
学科長等	(マエハシ ケンゾウ) <b>前橋 兼三</b> (平成31年4月)	(タカキ ヤスヒロ) 高木 康博 (令和2年4月)	前学科長の任期満了に伴う 学科長の変更(2)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
    - 令和3年度に報告する内容 → (3)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

# (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
  - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

# (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	川 行
エ学部 生体医用システ ム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	56人	3年次 6人	236人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( ) 書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	令和力	元年度	令和 2	2 年度	令和:	3年度	令和	4 年度				平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	th control of the con		その他の学期		その他の学期		その他の学期	春季入学	その他の学典	春季入:	学 そ	その他の学期	超過率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
		56人	_	56人	_	56人	_		. A		V.	Y				
Α	入学定員	( -	- )	( -	- )	(	6)	(	)	(		)				
		[ -	- ]	[ -	- ]		- ]	[	]	[		]				
		165	<u> </u>	167		209	<u> </u>									
7	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(20)	(-)	( )	( )	(	) (	( )				
		[1]	[-]	[1]	[-]	[2]	[-]	LJ	LJ	L	1	L J				
	受験者数	124	_	108	_	141	_	, ,	, ,	,		<i>(</i> )				
1	文歌有数	( <del>-</del> ) [1]	(-) [-]	( <del>-</del> )	(-) [-]	(19) [2]	(—) [—]	Г 1		[	1	( ) [ ]	1.04倍	-		
		66		66		65				L						
1	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(8)	(-)	( )	( )	(	) (	( )				
		[1]	[-]	[1]	[-]	[2]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
		58	_	59		59	_									
В	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(6)	(-)	( )	( )	(	) (	( )				
		[1]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
入学	≐定員超過率 B/A	1.	03	1.	05	1.	05									

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

# (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和方	元年度	令和 2	2 年度	令和 3	3年度	令	和 4	年月	度				- 備 考	
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季。	入学	その他	の学期	春季入	、学	その他の学		
		58	_	60	_	60	_									
	1 年次	[1]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[	]	]	]	[	]	[	]	
		(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	(-)	(	)	(	)					
				56	_	59	_									
	2 年次			[1]	[-]	[-]	[-]	[	]	]	]	[	]	[	]	
		_		(-)	(-)	(2)	(-)	(	)	(	)	(	)	(		
						61	_									
	3 年次					[1]	[-]	[	]	]	]	[	]	[	]	
						(-)	(-)	(	)	(	)	(	)	(		
	4 年次							[	]	[	]	[	]	[	]	
								(	)	(	)	(	)	(	)	
			8	11	16		30									
	計	[	1]	[	1]	[2	2]	[			]	[		]		
		(-	-)	(	1)	(;	3)	(			)	(		)		

- ・令和3年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ 当がない年には「-」を記入してください。
  - <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

# (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		<b>ナか退労理由</b>
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
73.412					うち留学生数	
令和元年度	58 人	1 人	令和元年度	1人	0 人	他大学入学(1人)
令和2年度	116 人	1 人	令和元年度	0 人	0 人	
节和2千度	110 人	1 7	令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和3年度	180 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			平成29年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		2 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) \_ = \_ 1.72 % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) - = -0.86 % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) % - = -0 令和3年度の在学者数(b) 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b) \_ = \_ #DIV/0! %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

# 2 授業科目の概要

<工学部 生体医用システム工学科>

(1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

# 【令和3年度】

						単位委	ģ		専任教	女員等(	の配置		兼任						<u>i</u>	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼
	科 区:	目 分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	*		科区	目 分	授業科目の名称	配当 年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担						修	択	ф	授	授	師	教	手	担
	新入生 科目	新入生料目I	アカデミックライティング入門 工学基礎実験	1①3	2			7	6		2		兼1		新入生 科目	新入生科目 I 新入生科目 II	アカデミックライティング入門 工学基礎実験	1①3	2			8	4		1		兼1
		MIXITIN II	現代倫理論	1①3		2			0		- 2		兼1			817CZ1711 Z	現代倫理論	1①3	-	2		۰	•		•		₩2
			現代宗教論	1(1)(3)		2							兼2				現代宗教論	1(1)(3)		2							兼2
			多文化共生論	1(1)(3)		2							兼2				多文化共生論	1(1)(3)		2							兼2
		人	共生社会政策論	3①		2							兼1			人	共生社会政策論	3①		2							兼1
			国際平和論	3①		2							兼1			文	国際平和論 哲学	3①		2							兼1
	グ	†I	哲学 文学·芸術学	3①③ 3①③		2							兼2 兼1		グ	社会	留子 文学・芸術学	3(3) 3(3)		2							業1
		科	スチ・云州ナ 心理学	3①3		2							兼2			会科学科	心理学	3(3)		2							#1
	バル	科	教育学	3①		2							兼1		バル		教育学	3①		2							兼1
	教養	目	日本国憲法	1(1)(3)		2							兼1		教養	目	日本国憲法	1(1)(3)		2							兼1
	科		経済学	1(1)(3)		2							兼2		科		経済学	1(1)(3)		2							兼1
	目群		社会学	1①③		2							兼2		目群		社会学	113		2							兼2
			歴史学	1①3		2							兼2				歴史学	1(1)(3)		2							兼2
		理系	科学史 技術者倫理	3(3) 3·4(1)		2							兼1			理系	科学史 技術者倫理	3(3) 3·4(1)		2							兼1 兼1
		教	知的財産権·特許法	3.4①		2							兼1			教	知的財産権·特許法	2-3-4①		2							兼1
		科	安全工学	1.2.3.4①		2							兼1			養科	安全工学	1-2-3-4①		2							兼1
		目	キャリア・ブランニング	2.3①		2							兼1			目	キャリア・ブランニング	1-2-3①		2							兼1
			Integrated English	1①	1					1			兼9				Integrated English	1①	1					1			兼9
			Paragraph Writing	13	1					1			兼11 ×n				Paragraph Writing	13	1	Ì				1			兼11
			English Discussion Essay Writing	1③	1					,			兼9 兼10				English Discussion Essay Writing	13	1	Ì				,			兼9
			Essay Writing English Presentation	2①	1								兼9			英	English Presentation	2①	1	Ì							兼9
		語科	English Reading	23	1					1			兼10			語科	English Reading	23	1	Ì				1			<b>₩9</b>
		目	English Exam Preparation Course I	1①	1								兼6			目	English Exam Preparation Course I	1①	1								兼6
			English Exam Preparation Course II			1							兼4				English Exam Preparation Course II	2-3-424		1							兼3
			English Exam Preparation Course III	2·3·4(2)4)	1	1							兼2				English Exam Preparation Course III	2-3-424		1							₩1
			Academic Reading	3.4①	1	1							兼2 兼1				Academic Reading	3.4①		1							兼2
教	グ ロ		Academic Communication ドイツ語I	3·4③ 1①	$\vdash$	1	H	-	H	H			兼1		グロ		Academic Communication ドイツ語I	3·4③ 1①		1			H		H	$\dashv$	兼1 <del>業</del> 2
卷	- 1		ドイツ語Ⅱ	13	1	1							兼3	微量	- 1		ドイツ語II	13		1							兼2
教育科	バル		異文化理解のためのドイツ語	13		1							兼1	ı	バル		異文化理解のためのドイツ語	13		1							兼2
目	語語	est	フランス語I	1①		1							兼1	-	語	ner	フランス語!	1①		1							兼1
	文化	第二	フランス語II	1(3)		1							兼1		文化	第二	フランス語II	13		1							兼1
	科	[3]	異文化理解のためのフランス語	13		1							兼1		科	外国	異文化理解のためのフランス語	13		1							兼1
	群	語科	スペイン語! スペイン語!!	1①		1							兼1 兼1		群	語科	スペイン語I スペイン語II	1①		1							兼1
		B	スペインmu 異文化理解のためのスペイン語	13									兼1			目	スペイン語II 異文化理解のためのスペイン語	1(3)		1							兼1
			中国語	1①		1							兼3				中国語	1①		1							<b>#4</b>
			中国語II	1(3)		1							兼3				中国語II	13		1							₩4
			異文化理解のための中国語	1(3)		1							兼1				異文化理解のための中国語	13		1							兼2
			日本語初級	1 · 2 · 3 · 4(3)			1						兼1				日本語初級	1.2.3.4(3)			1						兼1
		日本	日本語初級ステップアップ				1						兼1			日本	日本語初級ステップアップ				1						兼1
		語	日本語中級 日本語中級ステップアップ	1 · 2 · 3 · 4(3)			1						兼1			語科	日本語中級 日本語中級ステップアップ	1-2-3-43			1						兼1
		=	日本語上級	1.2.3.4①			1						兼1			目	日本語上級	1.2.3.4(1)			1						兼1
			日本語上級ステップアップ	1 - 2 - 3 - 4(3)			1						兼1				日本語上級ステップアップ	1 - 2 - 3 - 4(3)			1						兼1
		グローバル先 端科目	グローバル先端科目	3(2)		1							兼1			グローバル先 端科目	グローバル先端科目	3(2)		1							兼1
		農工協働科目	農工協働科目	3(2)		1							兼1			農工協働科目	農工協働科目	3②		1							兼1
		產學連携科目	産学連携科目	2.3(2)		1							兼1			产学連携科目	産学連携科目	2.3(2)		1							兼1
	グ		標準化 マーケティング	3·4② 2·3①		2							兼1 兼1		グ		標準化マーケティング	3·4② 2·3①		2							兼1
		教養発展	ベーテティング ベンチャービジネス論	2.3.4(3)		2							兼1			教養発展	ベーテティンテ ベンチャービジネス論	2.3.4(3)		2							兼1
	バル	科目	プロフェッショナル実践法	3①		2							兼1		バル	科目	プロフェッショナル実践法	3①		2							兼1
	展開		3大学協働基礎ゼミ	1(2)		1							兼1		展開		3大学協働基礎ゼミ	1(2)		1							兼1
	科目		Global Communication	1.2.3(3)		2							兼2		科目		Japanese Belance and Technology	1.2.3③		2							兼2
	群		Intercultural Communication	1.2.33		2							兼1		群		Intercultural Communication	1.2.3③		2							兼1
		Multidisciplinar y Courses	Japanese Culture Language and Society	1.2.33		2							兼1 兼1			Multidisciplinar y Courses	Japanese Culture	1.2.33		2							兼1 兼1
			Language and Society グローバル展開特別科目(特別講義)	1.2.3(3)	1	2							兼1				三大学連接特別講義 I	1.2.3(3)		1							兼1
			グローバル展開特別科目(特別講義)	1.2.33	1	2							兼1				三大学連携特別講義I	1.2.33		2							兼1
			スポーツ健康科学理論	1①		2							兼5				スポーツ健康科学理論	1①		2							兼5
		ーツ健康科 2科目群	体力学実技	1①	1								兼5			ーツ健康科 <sup>2</sup> 科目群	体力学実技	1①	1								兼5
			生涯スポーツ実技	1(3)	L.	1	Ļ	<u> </u>	Ļ	H	_	Ļ	兼5		<u> </u>		生涯スポーツ実技	13	L.	1	Ļ	L	Ļ	H	H	Ļ	兼5
Ш	Щ,		小計(66科目) 線形代数学 I	1①	11	78	6	7	6	1	2	0	兼71 兼1	<b>—</b>	<u> </u>		小計(66科目) 線形代数学 I	1①	11	78	6	8	4	1	1	0	兼70 ※1
		工学	線形代数子 I 微分積分学 I および演習	1①	3								兼1			工学	線形代数子 I 微分積分学 I および演習	1①	3	Ì							兼1
		部共 数学 通	線形代数学Ⅱ	13	2								兼1			部共 数学 通	線形代数学Ⅱ	13	2	Ì							兼1
			微分積分学Ⅱおよび演習	1(3)	3	L	L	L	L	Ш		L	兼1				微分積分学Ⅱおよび演習	13	3	L	L	L	Ш	L	Ш		兼1
			数理統計学	2①		2							兼1				数理統計学	2①		2							兼1
			工学基礎数学	1①	2			1									工学基礎数学	1①	2	Ì		1					
			工学応用数学	13	1	2		1									工学応用数学	13		2		1					
			化学基礎 生物学入門	1①	2	2		1									化学基礎 生物学入門	1①	2	2		1					
			カ学	1(3)	2			ľ	1								力学	13	2				1				1
		生	電磁気学概論	1(3)	2			1						1	tı.	生	電磁気学概論	13	2								兼1
野門和花	Í	体医	電磁気学応用	2①	2				1					P	ig ig	体医	電磁気学応用	2①	2	Ì		1					
看	25 145 26	用シ	連続体物理	2①	1	2			1					1	楚	用シ	連続体物理	2①		2							兼1
A E	4	ス	熱統計力学	23	1	2			1					ŧ	4	ステ	熱統計力学	23		2			1				
	-	4	量子力学	2③		2		1						Ι΄	_	4	量子力学	2③		2		1					1
		学	波動物理 プログラミング I および演習	2③ 1③	3	2		1	1							工学	波動物理 プログラミング I および演習	23 13	3	2		1					
		基	プログラミング I および演習	2①	3			1								基	プログラミング I および演習	2①	3	Ì		ļ .					兼1
			電気回路	2①	2			l .	1							196	電気回路	2①	2	Ì			1				l <sup>~~</sup> '
			電子回路	2③	1	2		1									電子回路	2③		2		1					
			臨床医学概論	1①	2								兼2				臨床医学概論	1①	2			1					<b>兼</b> 1
			生理学	13	1	2							兼1				生理学	13		2							兼1
			生物学	2③	1	2		l					兼1	1			生物学	2③		2							兼1
			生体医用工学 I 小計(24科目)	2①	32	20	0	3 6	5 6	0	0	0	兼9	-			生体医用工学 I 小計(24科目)	23	32	20	0	8	3	0	0	0	兼11

변수에							単位炎	t		専任教	女員等:	の配置	t	兼任						Ì	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
生物原用不守 20 2 2 2 4 4 2 8 5 8 7 5 8		科区	∃ 分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教		講	助	助			科区	目 分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教		講	助	助	
無機を対象 23						修	択	由	授	授	師	教	手							修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
開からいった。 2 2 2 1 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2				生体医用工学Ⅱ	_				4	2								生体医用工学Ⅱ	3①				4	2				
展用服金工学 23 2 1 1 1 2 2 1				生命倫理	3①	2								兼1				生命倫理	3①	2								兼1
ALAFT 23 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2				計測・制御	2(3)		2		1									計測・制御	23		2		1					i
世帯地理 33) 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2				医用画像工学	2③		2		1									医用画像工学	2③		2		1					i
器を物理 30 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2					~		2		1									AI入門	-		2		1					ĺ
### ALL-DAC-DACA 3D 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1					_		2			1									_					-1				i
					-		2			1									-									兼1
展用語音型工字 30) 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2					-		2		1										3①		2		1					i
展用が内に与った。 3① 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				量子技術概論	~		2			1								量子技術概論	3①		_		1					i
接触性学 330 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2					_				1										_				1					i
単位				医用メカトロニクス	3①		2		1									医用メカトロニクス	3①		2		1					i
展用計画・機器 33 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2				放射線化学	3(3)		2		1									放射線化学	3(3)		2		1					ĺ
全体アオトニクス   33   2   1   1   1   2   2   3   3   2   1   1   3   3   3   3   2   3   3   3   3   3				生体機能工学	3①	l	2	l		1			l					生体機能工学	3①		2		l	1	1			i
展用デバイス工学 3① は 2 は 1 は 6 は 7 は 7 は 8 は 7 は 8 は 8 は 9 は 9 は 9 は 9 は 9 は 9 は 9 は 9				医用計測・機器	~		2			1									3(3)		2			1				i
解子展開せる 2① 2 2 7 6 2 2 素性 1 1 2 2 2 3 2 2 1 1 2 3 素性 1 2 2 3 2 2 1 1 2 3 素性 1 3 4 4 0 2 3 素性 1 2 3 2 4 4 1 1 4 4 0 7 6 2 2 4 4 5 4 1 1 4 4 5 0 7 6 2 2 4 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4				生体フォトニクス	3③		2			1								生体フォトニクス	3(3)		2			1				i
関係保守基礎 I 20 0 2 0 0 2 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 0 0		jily			~		2		1								Z.		3(3)		2		1					i
関係保守基礎 I 20 0 2 0 0 2 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 次 2 0 0 0 0		P		科学英語ゼミ	2①		2		7	6		2				P	9	科学英語ゼミ	2①		2		8	4		1		i
職職務学基礎目 2① 20 2 日本 2		科日		抗体免疫学	2①		2		1							ŧ	1	抗体免疫学	2①		2		1					i
生化学 23 2 2 7 6 2 2 2 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 6 2 2 4 7 7		н		臨床医学基礎 I	2①		2							兼1			•	臨床医学基礎 I	2①		2		1					兼1
解理学・薬理学 3① 2 2 7 6 2 2 数 2 4 1 1 1 1 1 1 2 2 7 6 1 2 2 数 4 1 1 1 1 1 1 2 2 8 8 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				臨床医学基礎Ⅱ	2(3)		2							兼1				臨床医学基礎Ⅱ	2③		2		1					兼1
特別ゼミ 1 (1) 2 2 7 6 2 2 7 6 6 2 2 5 7 6 6 2 2 5 7 7 6 7 6 7 6 7 2 5 7 7 6 7 6 7 2 7 7 6 7 6 7 2 7 7 6 7 6 7				生化学	2(3)		2							兼1				生化学	2①		2							兼1
特別ゼミロ 2① 2 7 6 2 2 1 8 4 1 1 2 2 3 2 2 8 8 4 8 8 1 1 2 2 3 3 3 3 2 2 8 8 4 8 8 8 4 8 1 1 2 2 3 3 3 3 2 2 8 8 4 8 8 8 4 8 1 1 2 2 3 3 3 3 2 2 8 8 8 4 8 8 8 4 8 1 1 2 3 3 3 3 2 8 8 8 4 8 8 8 8 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8				病理学·薬理学	3①		2							兼2				病理学·薬理学	3①		2							兼2
生体展用システム工学実験 1 23 2 7 7 6 2 2				特別ゼミI	1①		2		7	6		2						特別ゼミI	1①		2		8	4		1		i
全体展用システム工学実験目   4①   1				特別ゼミⅡ	2①		2		7	6		2						特別ゼミⅡ	2①		2		8	4		1		i
### 1 1				生体医用システム工学実験 I	2(3)	2			7	6		2						生体医用システム工学実験 [	2③	2			8	4		1		i
### ### ### #########################				生体医用システム工学実験Ⅱ	3①	2			7	6		2						生体医用システム工学実験Ⅱ	3①	2			8	4		1		i
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				生体医用システム工学特別演習 I	4①	1			7	6		2						生体医用システム工学特別演習 [	4①	1			8	4		1		i
### PATENT NATION NAT				生体医用システム工学特別演習 II	4(2)	1			7	6		2						生体医用システム工学特別演習Ⅱ	43	1			8	4		1		i
小計(30科目)				生体医用システム工学特別実験 I	4①	2			7	6		2						生体医用システム工学特別実験!	4①	2			8	4		1		i
研究室体験配置   3③ 2   7 6 2 2   7 7 6 2 2   7 7 6 2 2   7 7 6 0 2 0   7 7 6 0 2 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 2 0 0   7 7 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0   7 7 6 0 0 0 0 0 0   7 7 6 0 0 0 0 0 0   7 7 6 0 0 0 0 0 0 0   7 7 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				生体医用システム工学特別実験 II	43	2			7	6		2						生体医用システム工学特別実験Ⅱ	43	2			8	4		1		i
事業論文         4通         8         7         6         2         日本語名         本業論文         4通         8         4         1         日本語名           小計(2科目)         -         10         0         0         7         6         0         2         0         本行(50科目)         -         10         0         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         56         64         0         7         6         0         2         0         本行(50科目)         -         56         64         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         56         64         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         56         64         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         56         64         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         56         64         0         1         0         本行(50科目)         -         4         0         0         4         0         1         0         本行(50科目)         -         2         2         3         4         0 <td></td> <td></td> <td></td> <td>小計(30科目)</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>兼6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>小計(30科目)</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>兼7</td>				小計(30科目)	-	14	44	0	7	6	0	2	0	兼6				小計(30科目)	-	14	44	0	8	4	0	1	0	兼7
・ 計(2科目) - 10 0 0 7 6 0 2 0 乗15				研究室体験配属	3③	2			7	6		2						研究室体験配属	3③	2			8	4		1		
小計(56科目) - 56 64 0 7 8 0 2 0 東15				卒業論文	4通	8			7	6		2						卒業論文	4通	8			8	4		1		i
###  ###  ###  ###  ###  ###  ###  ##				小計(2科目)	-	10	0	0	7	6	0	2	0					小計(2科目)	-	10	0	0	8	4	0	1	0	
共通 将目 工学部特別講覧 I コッキ1028 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			小計(5	56科目)	_	56	64	0	7	6	0	2	0	兼15			小計(5	56科目)	_	56	64	0	8	4	0	1	0	兼18
新日 工学部特別講義 I		T		研究インターンシップ	4(2)		2		7	6	1							研究インターンシップ	4(2)		2		8	4				
##																		工學部特別開稿 I (環境科學 I )	1-1-4-40000		2							兼1
## 1	프		科目	工学部特別講義I	1-2-3-4()(2(3)8)		2							兼1	工学		科目	工学部特別講義I	12243236		2							兼1
## 日   小野(3科目)	部。			工学部特別講義Ⅱ	1-2-3-4()(2(3)8)	L	1	L		L	L		L	兼1	部			工学部特別講義Ⅱ	12243236		1	<u></u>	L	L		<u></u>		兼1
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	共一	P9		小計(3科目)	-	0	5	0	7	6	1	0	0	兼1	共源	P9		小計(4科目)	-	0	7	0	8	4	0	0	0	兼2
特別	専	科	TITLE DATE	Japanese Science and Technology	3.43		2							兼1	専			Japanese Science and Technology	3.43		2							兼1
日	P9 '	-	国際 科目	International Cooperation of Science and Technology	3 · 4(3)		2							兼1	門和	-	国際 科目	International Cooperation of Science and Technology	3 · 4(3)		2							兼1
・小計(6科目) - 0 11 0 7 6 0 0 0 煮3 会計(128科目) - 67 153 6 7 6 1 2 0 煮88 会計(128科目) - 67 155 6 8 4 1 1 0 <b>280</b> 会計(128科目) - 67 155 6 8 4 1 1 0 <b>280</b> 公修科目67単位、専門科目の選択必修科目から12単位以上を修得し、130単位以上修得すること。				Engineering for Sustainable Society	3.4①		2							兼1				Engineering for Sustainable Society	3.4①		2							兼1
会計(128科目) - 67 153 6 7 6 1 2 0 兼88		ſ		小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	兼2				小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	兼2
卒業要件及び履修方法 卒業要件及び履修方法 卒業要件及び履修方法				小計(6科目)	-	0	11	0	7	6	0	0	0	兼3				小計(7科目)	-	0	13	0	8	4	0	0	0	₩4
必修科目67単位、専門科目の選択必修科目から12単位以上を修得し、130単位以上修得すること。 必修科目67単位、専門科目の選択必修科目から12単位以上を修得し、130単位以上修得すること。			合計(1	28科目)	-	67	153	6	7	6	1	2	0	兼88			合計(1	29科目)	-	67	155	6	8	4	1	1	0	兼90
				卒	業要件及で	び履修	方法											卒	業要件及(	ゾ履修	方法							
					目から12년	単位以	人上を	修得し	., 130	単位	以上(	<b>多得す</b>	「るこ	೬。					目から12章	単位以	人上を	修得し	., 130	)単位	以上	多得す かんきょうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかん かんかん かんかん か	ること	⊆.

【令	和元	年度】												<b>計和</b> 2	2年度】											
Γ	科		MANUTA ATT	配当	_	単位数			任教		_	_	٦Ē		∔B	授業科目の名称	配当		单位数					の配		兼任
	×	分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		ı	≅分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	新入生 科目		アカデミックライティング入門 工学基礎実験	1①	1								1	新入5			1①	1								兼1
		新入生科目Ⅱ	工子基锭美裝 現代倫理論	1①3	2	2		7	5		2		Ħ	H	新入生科目Ⅱ	工学基礎実験 現代倫理論	103	2	2		8	4		2		<b>₩</b> 2
			現代宗教論	1(1)(3)		2							Ш			現代宗教論	1(1)(3)		2							兼2
			多文化共生論	1①③		2							Ш			多文化共生論	1①3		2							兼2
		人文	共生社会政策論 国際平和論	3① 3①		2									人文	共生社会政策論 国際平和論	3① 3①		2							兼1
	グ	社	哲学	33		2								グ	社	哲学	3(3)		2							兼2
	0	会科	文学・芸術学	33		2							: [ ]	1	会科	文学・芸術学	3(3)		2							兼2
	バル	学科	心理学 教育学	3(3) 3(1)		2							Ш	バル	学科	心理学 教育学	3(3) 3(1)		2							兼1
	教	B	日本国憲法	113		2								教養	B	日本国憲法	1(1)(3)		2							兼1
	養科目		経済学	113		2							Ш	科目		経済学	1(1)(3)		2							<b>#1</b>
	群		社会学 歴史学	1①3		2								群		社会学 歴史学	1(1)(3)		2							兼2 兼2
		理	科学史	3(3)		2							11		理	科学史	3(3)		2							兼1
		系教	技術者倫理	3.4①		2									系教	技術者倫理	3.4①		2							兼1
		養科	知的財産権·特許法 安全工学	2·3·4① 1·2·3·4①		2									養科	知的財産権·特許法 安全工学	2·3·4① 1·2·3·4①		2							兼1 兼1
		B	キャリア・プランニング	1-2-3①		2									B	キャリア・プランニング	1.2.3①		2							兼1
			Integrated English	1①	1					1						Integrated English	1①	1					1			兼9
1			Paragraph Writing English Discussion	13	1					'				1		Paragraph Writing English Discussion	13	1					1			兼11 兼9
1			Essay Writing	2①	1					1				1		Essay Writing	2①	1					1			兼10
1		英語	English Presentation	2① 2③	1										英語	English Presentation	2①	1								兼9
1		科目	English Reading  English Exam Preparation Course I	2(3) 1(1)	1					'					科目	English Reading  English Exam Preparation Course I	2③ 1①	1					'			<b>乗8</b> 兼6
1			English Exam Preparation Course II	2 · 3 · 4(2)(4)	l	1							Ш	1		English Exam Preparation Course II	2.3.424		1							₩3
1			English Exam Preparation Course III		1	1										English Exam Preparation Course III	2-3-424		1							<b>兼1</b> ※2
1			Academic Reading  Academic Communication	3·4① 3·4③		1										Academic Reading  Academic Communication	3·4① 3·4③		1							兼2 兼1
<b>*</b>	グロー		ドイツ語I	1①		1							11.	グロー		ドイツ語I	1①		1						7	兼3
養養	ĸ		ドイツ語II 異文化理解のためのドイツ語	13		1								バ		ドイツ語Ⅱ	13		1							兼3
ä	ル言		フランス語」	1③		1										異文化理解のためのドイツ語 フランス語!	13		1							<b>兼2</b> 兼1
	語文化	第二	フランス語Ⅱ	1(3)		1								語文 (	第二	フランス語Ⅱ	13		1							兼1
	化科目	外国	異文化理解のためのフランス語	13		1								化科目	外 国	異文化理解のためのフランス語	13		1							兼1
	群	語科	スペイン語I スペイン語II	1①		1								群	語科	スペイン語I スペイン語II	1①		1							兼1 兼1
		B	異文化理解のためのスペイン語			1									B	異文化理解のためのスペイン語	13		1							兼1
			中国語	1①		1							Ш			中国語	1①		1							兼3
			中国語II 異文化理解のための中国語	13		1										中国語II 異文化理解のための中国語	13		1							兼3 <b>兼2</b>
			日本語初級	1 - 2 - 3 - 4(3)			1						11			日本語初級	1-2-3-43			1						兼1
		日本	日本語初級ステップアップ 日本語中級	1 · 2 · 3 · 4(3)			1								日本	日本語初級ステップアップ 日本語中級	1-2-3-43			1						兼1 兼1
		語科	日本語中級ステップアップ				1								語科	日本語中級ステップアップ				1						兼1
		B	日本語上級	1 · 2 · 3 · 4①			1								B	日本語上級	1-2-3-4①			1						兼1
		グローバル先	日本語上級ステップアップ グローバル先端科目	3(2)	-	1	1						41	-	グローバル先	日本語上級ステップアップ グローバル先端科目	3(2)		1	1					-	兼1 兼1
		端科目 農工協働科目	農工協働科目	3(2)		1									端科目 農工協働科目	農工協働科目	3(2)		1							兼1
		產学連携科目	産学連携科目	2.3(2)		1							41		産学連携科目	産学連携科目	2.3(2)		1							兼1
	グロ		標準化 マーケティング	3·4② 2·3①		2								グロ		標準化 マーケティング	3·4② 2·3①		2							兼1 兼1
	ゴバ	教養発展 科目	ベンチャービジネス論	2 · 3 · 4③		2								バ	教養発展 科目	ベンチャービジネス論	2.3.43		2							兼1
	ル展		プロフェッショナル実践法3大学位働基礎ポラ	3① 1②		2								ル展		プロフェッショナル実践法3大学位例其礎が5	3① 1②		2							兼1
	開科		3人子協伽泰能でに Japanese Bolance and Technology	1.2.3(3)		2							11	開科		3人子協関基礎でミ Japanese Selence and Technology	1.2.3(3)		2							兼2
	目群		Intercultural Communication	1.2.33		2								目群		Intercultural Communication	1.2.33		2							兼1
		Multidisciplinar y Courses	Japanese Culture	1.2.33		2									Multidisciplinar y Courses	Japanese Culture	1.2.3(3)		2							兼1 兼1
1			三大学連携特別課義 I	1.2.3(2)		1										三大学連携特別課義I	1.2.3(2)		1							兼1
1			三大学連携特別講義Ⅱ	1.2.3(3)		2										三大学連携特別講義Ⅱ	1.2.3(3)		2					Ш		兼1
1	スポ	一ツ健康科	スポーツ健康科学理論 体力学実技	1①	1	2								ス7	ペーツ健康科	スポーツ健康科学理論 体力学実技	1①	1	2							兼5 兼5
1	-	4科目群	生涯スポーツ実技	13	Ĺ	1					L	L		L	学科目群	生涯スポーツ実技	13	Ĺ	1	L	L		L			兼5
-			小計(66科目) 線形代数学 I	-	11	78	6	7	5	1	2	0	5			小計(66科目) 線形代数学 I	-	11	78	6	8	4	1	2	0	<b>兼72</b> ※1
1		工学	線形代数学 I 微分積分学 I および演習	1①	2										工学	線形代数学 I 微分積分学 I および演習	1①	2								兼1 兼1
1		部共 数学 通	線形代数学Ⅱ	13	2										部共 数学	線形代数学Ⅱ	13	2								兼1
1			微分積分学Ⅱおよび演習	13	3	_						-	41			微分積分学Ⅱおよび演習	13	3	_	<u> </u>					_	兼1
1			数理統計学 工学基礎数学	2① 1①	2	2		1								数理統計学 工学基礎数学	2① 1①	2	2		1					兼1
1			工学応用数学	1(3)	l	2		1								工学応用数学	13		2		1					
1			化学基礎	1①		2		1								化学基礎	1①		2		1					
1			生物学入門 力学	1①	2			1	1							生物学入門 力学	1①	2			1	1				
3	車	生体	電磁気学概論	1(3)	2									専	生体	電磁気学概論	1(3)	2								<b>兼</b> 1
ı	ij K	14· 医 用	電磁気学応用	2①	2	_			1					芦基	医用	電磁気学応用	2①	2	_		1					
1	#	シス	連続体物理 熱統計力学	2① 2③	l	2		1	1					礎科	シス	連続体物理 熱統計力学	2①		2			1				兼1
i		テム	量子力学	23	l	2		1						Ħ	テム	量子力学	23		2		1					
1		工学	波動物理	2③	١.	2			1						工学	波動物理	2③		2		1					
1		基礎	プログラミング I および演習 プログラミング II および演習	1③ 2①	3			1							基礎	プログラミング I および演習 プログラミング II および演習	13	3			1					兼1
1			電気回路	2①	2				1							電気回路	2①	2				1				
1			電子回路	2③	١	2		1								電子回路	23	_	2		1					
1			臨床医学概論 生理学	1①	2	2		1								臨床医学概論 生理学	1①	2	2		1					<b>兼1</b> 兼1
1			生物学	2③		2										生物学	2③		2							兼1
1			生体医用工学 I 小計(24科目)	23	2 32	20	0	3	4	0	0	0	,			生体医用工学 I 小計(24科目)	23	32	20	0	7	3	0	0	0	兼11
Щ			11:61 (4*特日)	<u> </u>	32	20	U	υ	*	U	U	U	<u>''                                   </u>		1	小司(444日)		32	20	U		ð	U	U	v	寒川

}	授業科目の名称 生体医用工学II 生命倫理 計測・制御	配当 年次 3①	必修	選	自	教	准	講	助	助	任	1	科		授業科目の名称	配当	-21	199			- 14	識	助	PH-	
	生命倫理 計測·制御	3①	條						ı		兼		×	分	DATE OF THE	年次	必	選	自	教		019	147	助	L
	生命倫理 計測·制御	3①		択	由	授	教授	師	教	手	担担						修	択	由	授	教授	師	教	手	
	計測・制御		2			4	2								生体医用工学Ⅱ	3①	2			4	2				Т
		3①	2								兼1				生命倫理	3①	2								3
		2③		2		1									計測・制御	23		2		1					
	医用画像工学	23		2		1									医用画像工学	2③		2		-1					
	AI入門	2③		2		1									AI入門	2③		2		1					
	化学物理	3①		2			-1								化学物理	3①		2			-1				
	固体物理	3①		2			-1								固体物理	3①		2			-1				
	光エレクトロニクス	3①		2		1									光エレクトロニクス	3①		2		1					
	量子技術概論	3①		2			1								量子技術概論	3①		2		1					
	医用超音波工学	3①		2		1									医用超音波工学	3①		2		-1					
	医用メカトロニクス	3①		2		1									医用メカトロニクス	3①		2		-1					ı
	放射線化学	3(3)		2		1									放射線化学	3(3)		2		-1					ı
	生体機能工学	3①		2			1								生体機能工学	3①		2			-1				ı
	医用計測・機器	3(3)		2			1		1	l	l	1			医用計測・機器	3(3)		2		1	1				1
	生体フォトニクス	3(3)		2			-1				l	1			生体フォトニクス	3(3)		2		1	-1				I
	医用デバイス工学	3(3)		2		1	1		1	l	l	1	7	iz.	医用デバイス工学	3(3)		2		-1					1
	科学英語ゼミ	2①		2		7	5		2						科学英語ゼミ	2①		2		8	4		2		
	抗体免疫学	2①		2		1							ŧ	\$ =	抗体免疫学	2①		2		-1					
	臨床医学基礎 I	2①		2		1					兼1			-	臨床医学基礎I	2①		2		1					
	臨床医学基礎Ⅱ	2③		2		1					兼1				臨床医学基礎Ⅱ	2③		2		1					ı
	生化学	2①		2							兼1				生化学	<b>2①</b>		2							
	病理学·薬理学	3①		2							兼2				病理学·薬理学	3①		2							
	特別ゼミI	1①		2		7	5		2							1①		2		8	4		2		ı
		-		2		7	5		2							2①		2		8	4		2		
	生体医用システム工学実験 I	2③	2			7	5		2						生体医用システム工学実験 [	23	2			8	4		2		ı
	生体医用システム工学実験Ⅱ	3①	2			7	5		2						生体医用システム工学実験Ⅱ	3①	2			8	4		2		
	生体医用システム工学特別演習 I	4①	1			7	5		2						生体医用システム工学特別演習Ⅰ	4①	1			8	4		2		ı
	生体医用システム工学特別演習Ⅱ	43	1			7	5		2						生体医用システム工学特別演習Ⅱ	43	1			8	4		2		ı
	生体医用システム工学特別実験 I	4①	2			7	5		2						生体医用システム工学特別実験!	4①	2			8	4		2		
			_			7	5		2								2			8	4		2	<u> </u>	1
			_	44	0		_	0	_	0	兼6							44	0	_		0	_	0	1
		-	2			7	5		2								2			8	4				
			8			7	5		2								8			8	4		Ť	<u> </u>	1
		_		0	0	7	_			_								0		8		_	-	_	$^{+}$
小計(5	56科目)	_	56	64	0	7	5	0	2	0	兼15			小計(5	56科目)	_	56	64	0	8	4	0	2	0	4
	研究インターンシップ	4(2)		2		7	5								研究インターンシップ	4(2)		2		8	4				ı
共通	工學部特別課職 I (環境科學 I )	1-2-1-40000		2							#1			共通	工学部特別開稿 I (環境科学 I )	1-2-4-40000		2							ı
科目	工学部特別講義I	1-2-2-4()(2(3)6)		2							兼1	_		科目	工学部特別講義 I	1-2-2-43/23/8		2							
	工学部特別講義Ⅱ	1-2-2-4()2(38)		1							兼1	学			工学部特別講義Ⅱ	1-2-2-43/2/2/8		1							
	小計(4科目)	-	0	7	0	7	5	0	0	0	₩2	部共	専		小計(4科目)	-	0	7	0	8	4	0	0	0	t
		3.4(3)		2			H				※1	通	科			3.4(3)		2		t	+			$\vdash$	t
国際		_										PS	目	国際		-				1					I
科目	promotional Cooperation of Science and Technology	_										科		科目	Orternational Cooperation of Science and Technology			_		1					I
	Engineering for Sustainable Society	3.4①		2							兼1	н			Engineering for Sustainable Society	3.4①		2							
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	兼2				小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	
	小計(7科目)	-	0	13	0	7	5	1	0	0	<b>業</b> 4				小計(7科目)	-	0	13	0	8	4	1	0	0	Ť
		-	67	155	6	7	5	1	2	0	₩92	-		合計(1	29科目)	_	67	155	6	8	4	1	2	0	t
		金事件 75.7	_	古法								-				<b>金栗姓 15.7</b>	_			<u> </u>			1 -	_	1
	φ.	来女 <b>开</b> 及(	ア腹形	·/)/X								$\vdash$			4	未安計及(	テ股形	刀瓜							_
	共科目 国科目 合計(1	生体フォトニクス 医用デバイス工学 科学英語ゼミ 対体免疫学 臨床医学基礎 I 臨床医学基礎 I 电水管・薬理学 特別ゼミ I 生化学 病理学・薬理学 特別ゼミ I 生体原用システム工学実験 I 生体原用システム工学表演 I 生体原用システム工学表演 I 生体原用システム工学特別演習 I 生体展用システム工学特別演習 I 生体展用システム工学特別演習 I 生体展用システム工学特別演習 I 生体展用システム工学特別演習 I 生体展用システム工学特別演習 I エター部が入り上で特別演習 I エター部・アターエ学特別演習 I 中計(36年目) 研究 エク・シン・ツブ エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生体フォトニクス (33) (25円 ドインスピータ (2	生体フォトニクス (33)   医用デバイス工学 (33)   お押 交話せど (21)   抗体免疫学 (21)   施 医医学基礎 I (23)   生化学 (24)   サイン (24)   生化学 (25)   生化学 (26)   サイン (26)   生化学 (27)   サイン (27)   生作展用システム工学実験 I (27)   生作展用システム工学実験 I (27)   生作展用システム工学実験 I (28)   生作展用システム工学実験 I (28)   生作展用システム工学実験 I (28)   1 生作展用システム工学対象 I (28)   1 生作展用システム工学支援 I (28)   1 生作展用システム工学対象 I (28)   1 生作展用システム工学対象 I (28)   1 生作展用システム工学対象 I (28)   1 生作展用システム工学が表現 I (28)   1 生作展用システム工学が表現 I (28)   1 生作展用シア・エージを表現を表現 I (28)   1 生作展用シア・エージを表現 I (28)   1 生作展用・ア・エージを表現 I 生作展用・ア・エージを表現 I (28)   1 生作展用・ア・エージを表現 I 生作展用・ア・エージを表現 I (28)   1 生作用・ア・エージを表現 I (28)	生体フォークス 医用デバイス工学 新学家語ゼミ 抗体免疫学 国族医学基礎 I 2① 2 当 2 3 2 中代学	生体フォークス 医用デバイス工学 科学英語ゼミ 抗体免疫学	生体フォークス 医用デバイス工学 33 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生体フォークス 医用デバイス工学 33 2 2 1 1 新学業話せ 2① 2 1 1 新学業話せ 2① 2 1 1 新学業話せ 2① 2 1 1  国族医学基礎 1 2① 2 1 1 国族医学基礎 1 2① 2 1 1 国族医学基礎 1 2① 2 7 5 研制学・展現学 3① 2 7 5 特別ゼミロ 2② 2 7 5 特別ゼミロ 2② 2 7 5 特別ゼミロ 4(2) 2 7 5 年後周市ンネテム工学実験 1 2② 2 7 5 年後周市ンネテム工学実験 1 2② 2 7 5 年後周市ンネテム工学実験 1 4① 2 7 7 5 年後周市ンネテム工学教養 1 4① 1 7 7 5 年後周市ンネテム工学教養 4② 1 7 7 5 中条社会のより工学教養 8 7 7 5 中条社会の報告 7 7 5 中条社会の報告 7 7 5 中条社会の報告 1 1 7 7 5 東京教養 1 2 7 7 5 中条社会の表生 4② 2 7 7 5 中条社会の表生 2 7 7 5 中条業学科及び履修方法	生体フォトークス 33 2 2 1 1 1 日	生体フォトークス	生体フォトークス 図用デバイス工学 33 2 2 1 1 1 2 1	生体フォトニクス 33	生体フォトニクス 83 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 1 2 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2	生体フォトニクス 33 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 1 2 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2	生体フォトニクス 33 2 2 1 1 1	生体フォトニクス 83 2 2 1 1 1 2	生体フォトニクス 33 2 2 1 1 3 3 接所デバイス工学 33 3 接所デバイス工学 33 3 接所デバイス工学 3 3 3 接所 3 2 2 1 1	生体フォトニクス 33	生体フォトニクス 33	生体フォトークス   33   2   1   1   1   2   2   2   3   2   2   1   5   2   2   3   2   2   3   2   2   3   3	生体フォトニクス 33	生体フォトークス 33	生体フォトークス (場所デバイス工学 33 に 2 に 1 に 1 に 2 に 2 に 1 に 3 に 3 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4	生体フォトニクス (展開ディイス工学 33	生体アナトンクス 33

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  ・ 認可申請書又は設置届出書の株式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  ・ 「認可等文は届出時」には 設置認可時文は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可等又は届出時から変更となっている箇所は**太学の赤字**としてください。
  ・ 履修希望者がいなかったために表間選<u>となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
  ・ 九ページ目には認可時又は届出時と始告生度2つの表を記入してください。
  ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
  ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【20】」、「連携実務演習」による授業科目には「【20】」、「連携実務演習」による授業科目には「【20】」、

### (1) - ②授業科目表に関する変更内容

- 【**令和元年度】** 講義の実態に合わせるため科目区分の名称を「教養教育科目」から「教養科目」に変更。
   教育効果を高めるため「教養科目区分」の配当年次及び各学期の科目数を見直した。
   教養科目の講義の実態に合わせるため経験科目の名称を「6lobal Communication」から「Japanese Science and Technology」、「Language and Society」から
  「International Cooperation of Science and Technology」、「グローバル展開特別科目(特別講義)」から「三大学連携特別講義Ⅰ」、「三大学連携特別講義Ⅰ」へ変
- ・東 ・専門基礎科目と専門科目の教育効果を高めるため「生体医用工学Ⅰ」、「生化学」及び「生体医用システム工学特別演習Ⅱ」の配当年次を変更。 ・工学部共通専門科目の教育内容の充実のため「工学部特別講義Ⅰ(環境科学Ⅰ)」を追加。

【令和2年度】
・担当者変更により、「連続体物理」、「プログラミングIIおよび演習」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」に変更。
・専任教員の昇任により、「工学基礎実験」、「科学英語ゼミ」、「特別ゼミI」、「生体医用システム工学実験I」、「生体医用システム工学実験I」、「生体医用システム工学特別演習I」、「生体医用システム工学特別演習I」、「生体医用システム工学特別演習I」、「生体医用システム工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究工公子の工学特別実験I」、「研究Tを表現では、「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である。「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である。「一個大学の工学を表現である「一個大学の工学を表現である」

「本述を表現である」

「本述を表現できます」

「本述を表現できます」

「本述を表現できます」

「本述を表現できます。」

「本述を表現できます」

「本述を表現できます。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。」

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。ままする。

「本述を表現できまする。

「本述を表現できまする。

「本述を表現できます

# 【令和3年度】

・専任教員の任期満了により、「工学基礎実験」、「科学英語ゼミ」、「特別ゼミⅡ」、「特別ゼミⅡ」、「生体医用システム工学実験Ⅰ」、「生体医用システム工学実験Ⅰ」、「生体医用システム工学特別演習Ⅰ」、「生体医用システム工学特別実験Ⅰ」、「生体医用システム工学特別実験Ⅱ」、「研究室体験配属」、「卒業論文」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きて記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科日数

	設置時の計画					変更状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	湘石
34 科目	88 科目	6 科目	128 科目	34 料 [ 一 ]	89 科目 [ 1 ]	6 科目 [ — ]	129 科目 [ 1 ]	

・ 未開<u>講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例:1科目滅の場合: $\Delta$ 1)

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分			内				容				備考
(1)		区	分	専	用	共	用		共用する 学校等の			計		
ŀ		校舎剪	敦 地		232, 569 m 237, 007 m		(	)mi	7 12 47 02		)m²	33.	2, 569 m 7, 007 m	<del>.</del>
校		運動場	用地		46, 341 m		(	m		(	)m²	4	6, 341 m	土地の一部売却のた め (2)
地		小	計		278, 910m 283, 348m		(	m		(	)m²		8, 910m 3. 348m	出地の一部売却のた - め (3)
		その	他		179, 358 m 180, 899 m		(	mî		(	)m²	179	9, 358 m <del>0, 899</del> m	
等		合	計		458, 268 m 462, 706 m 464, 247 m		(	mî		(	Omî	45 4 <del>6</del>	8, 268 m <del>2, 706 m</del> 4, 247 m	
				専	用	共	用		共用する 学校等の			計		
(2) 校		舎			131, 484m 131, 494m 131, 488m 131, 288m	2 -	(	)mî			)m²	13 13	1, 484m <del>1, 494m</del> 1, 488m 1, 288m	平成30年8月府中地区 5号館の改修のため
				(	131, 484㎡) 131, 494㎡) 131, 488㎡) 131, 288㎡)	(	0 m³)	(		0m²)	( ( (	131, 4 131, 4 131, 4 131, 2	<del>94m</del> ) <del>88m</del> )	建物の一部改修のた め (2) 建物の一部改修のた め (3)
				講義室	演	習室	実験実	習室	情報外	0.理学習	<b>冒施設</b>	語学学習		
(3) 教	3	室 等		85 <del>83</del> -	77室	43 4 <del>5</del> <u>1</u>	室 530 <del>5</del> 1	17 513室	(補助		<del>10</del> 室 3人)(	補助職員	-	建物の一部改修のため(元) 建物の一部改修のた
					新設学部	等の名称				室	<u> </u>	数		め(2) 平成30年12月准教授1 名就任辞退のため
(4) 専	任教員	員研究室		ı	学部 生体医用	システムエ	学科			1 + 1	5		室	(元) 令和2年10月専任准教 授1名辞職のため
				図書	学術	<b>行雑誌</b>								(2)
(5)		設学部等 の名称		〔うち外国書〕	〔うち	外国書〕	電子ジャ	ーナル	視聴的	党資料	機械・器	具 標	本	大学全体での共用
	,	77 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1			<del>m</del>	ŧ	重 〔うちタ	国書]		点		点	点	分
ŀ			530	, 482 [176, 338	14, 174	[7, 038]	7, 043 [6	402)	29	92	0		0	-
				(523, 741 [175, 256] )	(14 175	[7, 033] )	(8, [8, 00	080 91 )	(2.8	306)				予算、電子ジャーナル
図	C	)〇学部		_(525, 459 _[175, 489] )	<del>(14, 170</del>	(7, 033) ) (7, 022) )	<del>-(7,</del>	186	(2, (2, (2, (2, (2, (2, (2, (2, (2, (2,	3 <del>12)</del>	(0)		(0)	契約内容の変更によ り図書等の購入計画
書・設				_(526, 347 [175, 726] )		(7, 030)		226	(2, (					を 見直したため(2)
備			530	, 482 [176, 338	14, 174	[7, 038]	7, 043 [6	402)	29	92	0		0	
		計		(523, 741 [175, 256] )		(7, 033) )	[8, 00			306)				予算、電子ジャーナ ル
		ĒΙ		<del>(525, 459</del> <del>[175, 489] )</del>	<del>(14, 143</del>	<del>(7, 033) )</del> <del>(7, 022) )</del>	<del>- (7,</del> <del>- (7, 11</del>	<del>5) )</del>	<del>(2, 8</del> <del>(2, 8</del>	352)	(0)	(	(0)	契約内容の変更によ り
				_(526, 347 _[175, 726]_)_	-(14, 149	(7, 030)	<del>-(7,</del> <del>-(7, 15</del>		-(2, (	972)				図書等の購入計画を 見直したため(3)
				面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊	数	大学全体
(6) 図	ē	島 館							955席			54	5, 111 <del>m</del>	図書スペースの利用 方法を見直したため
					6, 9	07 m²			948席 897席			54	<del>5, 113∭</del> 4, 889∰	
(7) 体	Ĕ	育館		面	積					ポーツ施	設の概要			
(1)14	F	⇒ R6			2, 47	7 ㎡ プール ニスニ	ン、野外競技: 1ート7面)	場(弓道:	場、テ					
	ź	<b>圣費</b>	区	分	開設年度	完成年		分		前年度	開設年月	度 完成	战年度	
(8)	0		1 人	当り研究費等	千円		千円 図書	購入費		千円	=	f用	千円	]
経費の積り及	見 び 		同研	究 費 等	千円		千円 設備	購入費		千円	=	F円	千円	]
維持方 の 概		学生1人: り	<b>当</b>	第1年次	第2年次	穿	3年次	第44	<b>手次</b>	第	5年次	第65	年次	
		納付金		千円		千円	千円		千円		千円		千円	_
		学生糾	付金以外	トの維持方法の	既要									

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京	農工大学	 学				学生募集停 止学科数	8	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在:	地		
	年	人	年次	人		倍		年度	年度	:	年度		
農学部			人	000	学士	1.04	1 07		T-105-	東京都府中市幸	雪田三		
生物生産科学科	4	57	_	228	· (農学) 学士	1.04	1. 07	_	平成16年度	丁目5番8-			
応用生物科学科	4	71	_	284	(農学) 学士	1. 05	1. 02	_	平成16年度	同上			
環境資源科学科地域生態システ	4	61	_	244	(農学) 学士	1. 05	1. 04	_	平成16年度	同上			
ム学科	4	76		304	(農学) 学士	1. 05	1. 05	-	平成16年度	同上			
共同獣医学科	4	35	_	210	(獣医学)	1. 10	1. 11	-	平成16年度	同上			
<u>工学部</u>			3年次 70										
生命工学科	4	-	_	-	学士 (工学)	-		-	平成16年度	東京都小金井市 二丁目24番1	ī中町   6号	平成31年 生募集停	度より学 止
応用分子化学科	4	_	_	-	学士 (工学)	-		-	平成16年度	同上		平成31年 生募集停	
有機材料化学科	4	-	_	-	学士	-		-	平成16年度	同上		平成31年 生募集停	度より学
化学システムエ 学科	4	_	_	-	学士 (工学)	_		_	平成16年度	同上		平成31年	度より学
機械システムエ学科	4	-	_	-	学士 (工学)	-		-	平成16年度	同上		平成31年	度より学
・	4	-	_	-	学士 (工学)	-		-	平成16年度	同上		平成31年	度より学
電気電子工学科	4	-	_	_	学士	-		-	平成16年度	同上		平成31年	
情報工学科	4	-	_	_	学士 (工学)	-		-	平成16年度	同上		平成31年	ー 度より学
生命工学科	4	81	3年次 11	346	学士 (工学)	1. 03	1. 00	-	平成31年度	同上			
<u>生体医用システ</u> ムエ学科	4	56	3年次	236	学士	1. 04	1. 05	-	平成31年度	同上			
応用化学科	4	81	3 年次 10	344	学士	1. 04	1. 00	-	平成31年度	同上			
化学物理工学科	4	81	3年次7	338	学士	1. 05	1. 03	-	平成31年度	同上			
<u>機械システムエ</u> 学科	4	102	3年次 16	440	学士	1. 03	1. 06	-	平成31年度	同上			
<u>知能情報システ</u> <u>ム工学科</u>	4	120	3年次 20	520	学士 (工学)	1. 02	1. 02	-	平成31年度	同上			
大学全体	-	821	70	3494	-	-	-	-	-	-			
大学の名称	東京	農工大学	学大学院				学生募集停 止学科数	9	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		4	備	考
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	:	年度		
工学府 (博士前期課程)			٨										
生命工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学又は 学術)	1. 10	1. 15	-	平成16年度	東京都小金井市 二丁目24番1	5中町 ○6号		
応用化学専攻	2	78	_	156	修士 (工学又は 学術)	1. 00	0. 98	-	平成16年度	同上	-		
機械システムエ 学専攻	2	70	_	140	作士 (工学又は 学術)	1. 07	1. 11	-	平成16年度	同上			
物理システムエ	2	26	_	52	チョック 修士 (工学又は 学術)	1. 09	1. 19	_	平成16年度	同上			
学専攻 電気電子工学専 放	2	66		132	チャック 修士 (工学又は 学術)	1.00	1. 09	_	平成16年度	同上			
攻 情報工学専攻	2	42	_	84	チョック 修士 (工学又は 学術)	1. 06	1. 02	-	平成16年度	同上			
工学府 (博士後期課程)													
生命工学専攻	3	14	-	42	博士 (工学又は 学術)	0. 76	1. 00		平成16年度	東京都小金井市 二丁目24番1	5中町   6号		
応用化学専攻	3	14	_	42	博士 (工学又は 学術)	0. 63	0. 42		平成16年度		-		
機械システムエ	3	13		39	チャック (本学文は 学術)	1. 25	1. 15		平成16年度	同上			
学専攻 電子情報工学専	3	15			博士(工学又は	1. 04	0. 46		平成16年度	同上			
攻				•	学術)								

<u>工学府</u> <u>(博士課程)</u> 共 <u>同サステイナ</u> ビリティ研究専 攻	3	4	_	12	博士 (学術)	0. 83	0. 75	-	平成31年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
工学府 (専門職学位課程) 産業技術専攻	2	40	-	80	技術経営修士 (専門職)	1. 07	1. 07	-	平成23年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
農学府(修士課程) 生物生産科学専	2				修士(農学又は			_	平成16年度	東京都府中市幸町三	平成31年度より学
攻 共生持続社会学	2				学術) 修士 (農学又は					1日5街8号	生募集停止 平成31年度より学
専攻 応用生命化学専					学術) 修士 (農学又は	_		_	平成16年度	同上	生募集停止 平成31年度より学
攻 生物制御科学専	2	-	-	_	学術) 修士 (農学又は	_		_	平成16年度	同上	生募集停止 平成31年度より学
文 攻 環境資源物質科	2	-	-	_	学術)	_		-	平成16年度	同上	生募集停止
学専攻	2	-	-	_	修士(農学又は 学術)	-		-	平成16年度	同上	平成31年度より学 生募集停止
物質循環環境科学専攻	2	-	-	-	修士(農学又は 学術)	-		-	平成16年度	同上	平成31年度より学 生募集停止
自然環境保全学	2	-	-	-	修士 (農学又は 学術)	-		-	平成16年度	同上	平成31年度より学 生募集停止
農業環境工学専 攻	2	-	-	-	修士 (農学又は 学術)	-		-	平成16年度	同上	平成31年度より学 生募集停止
国際環境農学専 攻	2	-	-	_	修士 (農学又は 学術)	-		-	平成16年度	同上	平成31年度より学 生募集停止
農学専攻	2	174	-	348	修士 (農学又は 学術)	1. 16	1. 17	-	平成31年度	同上	
農学府(博士課程)											
共同獣医学専攻	4	10	-	40	博士 (獣医学)	1. 80	1. 80	-	平成30年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	
生物システム応用科 学府 (博士前期課程) 生物機能システ ム科学専攻	2	59	_	118	修士 (工学、農 学又は学術)	1. 18	1. 15	-	平成27年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
生物システム応用科 学府 (博士後期課程) 生物機能システ ム科学専攻	3	12	_	36	博士 (工学、農 学又は学術)	1. 60	0. 83	-	平成27年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
生物システム応用科 学府 (一貫制博士課程) 食料エネルギー システム科学専 攻	5	10	-	50	博士 (工学、農 学又は学術)	0. 84	0. 50	-	平成27年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
生物システム応用科 学府 (博士課程) 共同先進健康科 学専攻	3	6	-	18	博士(生命 科学)	0. 66	1. 00	-	平成22年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
連合農学研究科 (博士課程) 生物生産科学専 攻	3	15	_		博士 (農学又は 学術)	1. 30	0. 73	-	平成19年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	
応用生命科学専 攻	3	10	-	30	博士 (農学又は 学術)	0. 50	0. 40	-	平成19年度	同上	
環境資源共生科 学専攻	3	10	-	30	博士 (農学又は 学術)	1. 33	1. 50	-	平成19年度	同上	
農業環境工学専攻	3	4	-	12	博士 (農学又は 学術)	1. 58	1. 00	-	平成19年度	同上	
機林共生社会科 学専攻	3	6	-	18	博士 (農学又は 学術)	1. 11	1. 50	-	平成19年度	同上	
大学院全体	-	760	-	1697	-	-	-	-	_	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
  - (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
    ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
    場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - 「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

# 5 教員組織の状況

<工学部 生体医用システム工学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【令	11元年	变】	【令和	112年	隻】	【令	和3年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <許任(予定)年日>
專	教授	雅利 正数 (6 1) (7 1) (7 1) (8 1) (8 1) (8 1) (9 1	専	教授	横線 正教 (61) (61) (70) (61) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	専	教授	福利(4年) (62) (42) (62) (42) (62) (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42) (4	専	教授	稿詞 正敏 (63) (63) (平成31年4月) 理学博士 モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
専	教授	前橋 兼三 (5 4) (5 4) (5 4) (5 4) (5 4) (7 0,3 144月) 博士 (工学) 電子回路 (1 2 5 4) (2 4 5 4) (3 4 5 4) (4 5 4 5 4) (4 5 4 5 4) (4 5 4 5 4 5 4) (4 5 4 5 4 5 4) (4 5 4 5 4 5 4) (4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4	専	教授	前標 兼三 (54) (754)	専	教授	前橋 兼三 (53) 4年4月>	専	教授	前 (5 6 4 4 月 ) 情 (5 6 4 4 月 ) 情 (5 6 4 4 月 ) 情 (7 6 7 4 7 4 7 4 7 7 4 7 7 4 7 7 4 7 7 7 7
専	教授	三沢 和彦 (54) (下成31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   (東元31年4月>   東元31年4月>   東元31年4月-   東元31年4月4日4月-   東元31年4月4月-   東元31年4月4月-   東元31年4月4月-   東元31年4月4日4月-   東元31年4月4	専	教授	三沢 和倉 (54) (平成31年4月> (事工(理学) (東土(理学) (東土(理学) (東土(理学) (東土(理学) (東土(東土) (東土(東土) (東土) (東土) (東土) (東土) (東	專	教授	三沢 和彦 (531年4月> (第31年4月> (第31年4月> (第4年年) (第	專	教授	三(5 6) (マル(5 6) (東生年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年
専		高木 康博 (56) (平成31年4月> 博士(工学) プログラミング I および演習 AI入門 光エレクトロニリ 料学展記せミ I 特別せミ I 特別せミ I 生体医用記システム工学実験 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学学特別実験 I 生体医用システム	専	教授	高木 康博 (56) (平成31年4月> 博士(工学) 「東土(工学) 「アログラミング I および演習 AI人門 光工レクトロークス 生体医用・クス 年代医用・システム工学実験 I 生体医用システム工学特別・漫習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学学列演習 I 工学学系建策工	専	教授	高木 康博 (57) (下31年4月> 博士(工学) 「マア31年4月> 博士(工学) 「フログラミング I および演習 AI入門 光工レクトロークス 生体医用・クス 科学楽語ゼミ I 日生体医用システム工学実験 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 工学学院 I 生体空間・システム エデー	専	教授	高 「

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	岩舟 (20) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (4	専	教授	岩井 後3 (63) 44月 > 工学 (63) 44月 > 工学 (63) 44月 > 工学基礎教学 工学体 (63) 44月 * 工学基礎教学 (44) 45 (45) 45 (4	專	教授	岩舟 後昭 (63)年4月> 工学(63)年4月> 工学(63)年4月> 工学を開教学 工学は開教学 工学は開教学 生特等及と 1 特別セミ 1 特別セミ 1 特別セミロテム工学実験 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演演 I 生生体医用システム工学特別演演 I 生生体医用参数 (63)年4月9年9月9日   生生体医用参加 (73)年4月9日   生体医甲基基礎実験 I	専	教授	場合 (1 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年
専	教授	石田 寛 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)	専	教授	石田 寛 (48) 第 (48) [48] [48] [48] [48] [48] [48] [48] [48]	専	教授	石田 寛 (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49)	専	教授	石田 寛 (50) (50) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (1
專	教授	株田 晃司 (531年4月> 博士(工学) ブログラミング I および演習 医用速音と I および演習 医用極音波 工学 経験用・システム工学実験 I 生体医用システム工学等特別セミ I 特別・セステム工学等特別・セステム工学等特別・セステム工学等特別・大会に関システム工学等制演習 I 生体体医用システム工学等制演習 I 生体体医用システム工学特別演習 I 生体体医用システム工学・特別演習 I エーターシステム工学・特別実験 I で楽書論	專	教授	押田 見司 (50) (50) (50) (50) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	專	教授	横田 晃司 (51) ⟨平成31年4月⟩ 博士(12)   博士(12)   博士(12)   藤庆医学春報    藤庆医学春報    藤庆医学基報    博力(12)   神別ゼミⅡ   生体医用システムエ学実験 I   生体医用システムエ学等  演習 I   生体医用システムエ学特別演電 I   生体医用システムエ学特別演電 I   生体医用システムエ学特別演電 I   生体医用システムエ学特別演音 I   生体医用システム工学を関連で表表を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	專	教授	横(5 2) (マス) (マス) (マス) (マス) (マス) (マス) (マス) (マス
専	准教授	生魄(健司(49) 《平成1(年4月) (本年) 第2(年) 第2(年	專	准教授	生嶋 健司 (49) (49) (49) (49) (49) 電磁気学応用 選挙が応用 選挙を開工がき! 特別でき! 特別でき! 生体医用システムエ学実験! 生体医用システムエ学特別演演験! 生体医用システムエ学特別演演験! 生体医用システムエ学特別演演験! 生体医用システムエ学特別演演験! 工学体医用システムエ学特別演演験! 「日本体医用システムエ学特別実験! 「日本体医用システムエ学特別表別演演験! 「日本体医用システムエ学特別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表別表	專	教授	生嶋 健司 (50) 〈平成144月〉 博才(50) 〈平成1(44月〉 博才(31) (44) 〉 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	専	教授	生嶋 11 (5 11) (5 11) (5 11) (7 11) (

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任 兼担 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼兼	任· 担· 任 )別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 乗り の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名
専	准教授	村山 能宏 (46) 《平成31年4月> 博士(情報科学) 整統計力学 生体機能工学 生体機能工学 生体医用エ学 I ※ 特別ゼミ I 生体医用システム工学実験 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学・特別実験 I 生体医用システム工学・特別実験 I な 変な体験配属	専	准教授	村山 能宏 (46) (46) 《平成31年4月> 博士(信報科学) 整統計力学 生体機能工学 生体機能工学 生体医用工学 I ※ 特別ゼミ I 生体医用ンステム工学実験 I 生体医用ンステム工学等験 I 生体医用ンステム工学特別演習 II 生体医用ンステム工学特別演習 II 生体医用ンステム工学特別演習 II 生体医用ンステム工学特別実験 I 生体医用ンステム工学特別実験 I 生体医用ンステム工学・		専	准教授	村山 能宏 (4 7) (4 7	専	准教授	村山 作品 (4 8)
專	准教授	柳潭 (藤原) 実穂 (36) (36) (平成31年4月>										
専	准教授	山本 明保 (38) (38) (38) (38) (38) (4月) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48	専	准教授	山本 明保 (331年4月> (331年4月> ・ 博士 (工学)  力学  化学物理  国体物理 生体医用工学 I ※ 科神究語ゼミ I 生体医用システム工学実験 I 生体医用システム工学実験 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学特別演習 I 生体医用システム工学・対別実験 I 生体医用システム工学・対別実験 I 生体医用システム工学・対別実験 I 生体医用システム工学・対別実験 I が完全な エ学基礎実験 研究インターンシップ		専	准教授	山本3明保 (331年4月>   (341年4月)   (341年4月    (341年4月)   (34	専	准教授	山本 40 (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (
専	准教授	田中 洋介 (51) (751) (703) (751)	専	准教授	田中 洋介 (51) (51) (71) (71) (71) (71) (71) (71) (71) (7		曲	准教授	田中 洋介 (52) (52) (52) (52) (52) (52) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53) (53	専	准教授	田中 洋介 (53) (53) (753)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専業兼	担 · 任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
專		担当授業科目名	1	専		担当授業科目名	専	准教授	担当授業科目名	専	准教授	担当授業科目名
専		浅井 優一 (3.9) 〈平成31年4月〉 博士 (異文化3127-7-32学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	1	専		浅井 優一 (39) 〈平成31年4月〉 博士(異文化3 <u>15</u> 4743/学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	専	講師	浅井 優一 (4 O) 〈平成31年4月〉 博士(異文化31247-732学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	専	講師	浅井 優一 (4 1) 〈平成31年4月〉 博士(異文化3127~32学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading
専	助教	生田 昂 (30) 《平成31年4月> 博士 (工学) 科学英語では「工学、	1	専	助教		専	助教	生田 昂 (マ成31年4月>   博士 (工学)   博士 (工学)   神学英語ゼミ   特別ゼミ	専	助教	生田 昂 (
專		小原 祐樹 (35) <平成31年4月>   横生 (工学) 科学英語セミ特別セミ   特別セミ   特別セミリー   サステムエ学実験   生体医用システムエ学・   大阪用システム工学・   大阪用システム工学・   大阪門システム工学・   大阪門・   大阪門・	1	専		小原 祐樹 (35) 〈平成31年4月〉 博士(工学) 科学英語ゼミ 特別ゼミ I 特別ゼミ I 特別ゼミステム工学実験 I 生体医用システム工学実験 I 生体医用システム工学特別流習 I 生体医用システム工学特別流習 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム工学特別実験 I 生体医用システム	専	助教	小原 祐樹 (36) <平成31年4月> 博士(工学) 科学英語ゼミ 特別ゼミ I 特別ゼミ I 特別・ステムエ学実験 I 生体医用システムエ学・特別・液留 I 生体医用システム工学特別・演習 I 生体医用システムエ学特別・実験 I 生体医用システムエ学特別・実際 I 生体医用システムエ学特別・実際 I 生体医用システムエ学特別・実際 I 生体医用システムエ学特別・実際 I 生体医用システムエ学特別・実際 I 工学基礎実験			
兼担	教授	原田 賢治 (56) <平成31年4月> 博士(医学)										
兼担	教授	<u>臨床医学基礎 I</u> 渡辺 元 (6 2) <平成31年4月> 博士 (農学)										
兼担	教授	生理学       渋谷 淳       (59)       <平成31年4月>       病理学・薬理学※	#	東担	教授	渋谷 淳 (59) <平成31年4月> 医学博士 病理学・薬理学※	兼担	教授	渋谷 淳 (60) <平成31年4月> 医学博士 病理学・薬理学※	兼担	教授	渋谷 淳 (61) <平成31年4月> 医学博士 病理学・薬理学※
							兼担	准教授	岡野 太治 (39) <令和2年4月> 博士(理学)	兼担	准教授	岡野 太治 (40) <令和2年4月> 博士(理学)
							兼担	准教授	プログラミングIIおよび漢書 吉野 大輔 (35) 〈令和2年4月〉 博士 (工学) 連集体物理	兼担	准教授	プログラミングI および漢習 吉野 大輔 (36) 〈令和2年4月〉 博士 (工学) 連続体物理
							兼担	教授	生化学			生化学
									<b>継形代数学</b> I	兼担	准教授	直井 克之 (3 7) <平成31年4月> 博士 (數理科学) 線形代数学Ⅰ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 佐藤 容子			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	に解 分子 (65) (平成31年4月> 文学修士 Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading 表 祐希子			森 祐希子			森 祐希子			森 祐希子
兼担	教授	(6 1) 〈平成31年4月〉 文学修士 Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	(6 1) 〈平成31年4月〉 文学修士 Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	(62) <平成31年4月> 文学修士 Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	(63) 〈平成31年4月〉 文学修士 Integrated English Paragraph Writing English Reading
兼担	教授	伊東 道生 (62) 〈平成31年4月〉 文学修士 ドイツ語I ドイツ語II	兼担	教授	伊東 道生 (6 2) (7 2) (7 2) (8 2	兼担	教授	伊東 道生 (63) <平成31年4月> 文学修士 ドイツ語1 ドイツ語1 異文化理解のためのドイツ語	兼担	教授	伊東 道生 (64) (マ成3)年4月> 文学修士 ドイツ語! ドイツ語! 異文化理解のためのドイツ語
兼担	教授	田中 幸夫 (63) (平成31年4月> 博士 (体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 幸夫 (63) (平成31年4月> 博士 (体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 幸夫 (64) (平成31年4月> 博士 (体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 幸夫 (65) <平成31年4月> 博士(体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技
兼担	教授	田中 秀幸 (55) <平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 秀幸 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 秀幸 (56) <平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	兼担	教授	田中 秀幸 (57) <平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技
兼担	教授	篠原 和子 (60) (9631年4月> 博士(教育学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	篠原 和子 (60) (763年4月> 博士(教育学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	教授	篠原 和子 (61) (平成31年4月> 博士(教育学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	篠原 和子 (6 ( ) (7 ( ) (8
兼担	教授	藤井 恒人 (子 6) (子 6) (子 7 6) (子 7 7 8) (子 7 8) (子 7 9) (子 7 9)	兼担	教授	藤井 恒人 (56) (平成31年4月> 理学修士 アカデミックライティング入門 キャリア・ブランニング 産学連携科目	兼担	教授	藤井 恒人 (57) <平成31年4月> 理学修士 アカデミックライティング入門 キャリア・ブランニング 産学連携科目	兼担	教授	藤井 恒人 (58) (平成31年4月> 理学修士 アカデミックライティング入門 キャリア・ブランニング 産学連携科目
兼担	教授	朝岡 幸彦 (60) <平成31年4月> 博士(教育学) 教育学	兼担	教授	朝岡 幸彦 (60) <平成31年4月> 博士(教育学) 教育学	兼担	教授	朝岡 幸彦 (61) <平成31年4月> 博士(教育学) 教育学	兼担	教授	朝岡 幸彦 (62) <平成31年4月> 博士(教育学) 教育学
兼担	教授	山田 祐彰 (54) (平成31年4月> Doctor of Philosophy (米国) 経済学									
兼担	教授	高橋 美貴 (52) (平成31年4月) 博士(文学) 歴史学 箕田 弘喜	兼担	教授	高橋 美貴 (52) (平成31年4月) 博士(文学) 歴史学 箕田 弘喜	兼担	教授	高橋 美貴 (53) <平成31年4月> 博士(文学) 歴史学	兼担	教授	高橋 美貴 (5 4) (5 4) (平成31年4月> 博士 (文学) 歴史学
兼担	教授	(54) <平成31年4月> 博士(理学) 工学部特別講義 I 工学部特別講義 I	兼担	教授	(54) 《平成31年4月》 博士(理学) 工学部特別講義 I 工学部特別講義 I						
						兼担	教授	平野 雅文 (54) <令和2年4月> 博士(学術) 工学部特別勝義 I	兼担	教授	平野 雅文 (55) <令和2年4月> 博士(学術) 工学部特別講義 I 工学部特別講義 I
兼担	教授	野間 竜男 (6 O) 〈平成31年4月〉 工学博士 Japanese Science and Technology International Cooperation of Science and Technology	兼担	教授	野間 竜男 (6 O) 〈平成31年4月〉 工学博士 Japanese Science and Technology International Cooperation of Science and Technology	兼担	教授	工学部等別 <b>廣省工</b> 野間 竜男 (6 1)  《平成31年4月〉 工学博士  Japanese Science and Technology International Cooperation of Science and Technology	兼担	教授	### ### ### ### ### ### #############
兼担	特任 教授	杉野 幹人 (4 4) <平成31年4月> INSEAD MBA Degree (フランス) マーケティング	兼担	特任 教授	杉野 幹人 (4 4) <平成31年4月> INSEAD MBA Degree (フランス) マーケティング	兼任	特任 教授	杉野 幹人 (45) <平成31年4月> INSEAD MBA Degree (フラン ス) マーケティング			
兼担	准教授	<u>マーケティング</u> 熊崎 努 (46) <平成31年4月> <u>学士(医学)</u> 臨床医学概論※			. //127			. //127			
兼担	准教 授	- ************************************	兼担	准教 授	永岡 謙太郎 (45) 《平成31年4月》 博士(獣医学) 生化学						
兼担	准教 授	佐々木 一昭 (51) <平成31年4月> 博士(獣医学) 病理学・薬理学※	兼担	准教 授	佐々木 一昭 (52) <平成31年4月> 博士(獣医学) 病理学・薬理学※	兼担	准教授	佐々木 一昭 (53) <平成31年4月> 博士(獣医学) 病理学・薬理学※	兼担	准教 授	佐々木 一昭 (54) <平成31年4月> 博士(獣医学) 病理学・薬理学※
兼担	准教 授	村田 実貴生 (41) <平成31年4月> 博士(数理科学) 数理統計学	兼担	准教 授	村田 実貴生 (41) <平成31年4月> <u>博士(数理科学)</u> 数理統計学					_	
<b>善</b> 坦	准教	畠山 雄二 (52) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)	<b>等</b> 坦	准教	畠山 雄二 (52) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)	<b>善</b> 坦	准教	畠山 雄二 (53) <平成31年4月> 博士(情報科学)	<b>善</b> 坦	准教	畠山 雄二 (54) (平成31年4月> 博士(情報科学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
AR I	授	担当授業科目名	AK I=	授	担当授業科目名 Integrated English	NR 1=	授	担当授業科目名	NK I	授	担当授業科目名
	18	Paragraph Writing Essay Writing English Reading		12	Paragraph Writing Essay Writing English Reading		12	Paragraph Writing Essay Writing English Reading		12	Paragraph Writing Essay Writing English Reading
兼担	准教授	任 利(鄭 任利)	兼担	准教 授	任 利(鄭 任利) (44) (平成31年4月> 博士(言語学) 中国語I	兼担	准教授	任 利(鄭 任利) (45) 《平成31年4月》 博士(言語学) 中国語I	兼担	准教 授	任 利(鄭 任利) (446) 《平成31年4月》 博士(言語学) 中国語I 中国語II
兼担	准教授	異文化理解のための中国語 佐藤 健 (47) (平成31年4月> M.A (英国) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	准教授	異文化理解のための中国語 佐藤 健 (47) (平成31年4月> M.A (英国) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	准教授	異文化理解のための中国語 佐藤 健 (48) <平成31年4月> M. (英国) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	准教授	異文化理解のための中国語 佐藤 健 (49) (平成31年4月> M.A (英国) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing
兼担	准教授	English Reading 字野 良子 (4 5) 〈平成31年4月〉 博士(学術) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	准教授	宇野 良子 (45) <平成31年4月> 博士 (学術)  Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	准教授	English Reading 字野 良子 (4 6) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	教授	English Reading 宇野 良子 (47) <平成31年4月> 博士 (学術) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading
兼担	准教授	岡野 一郎 (55) (東京3年4月> 修士 (社会学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	准教 授	岡野 一郎 (55) (平成31年4月) 修士(社会学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading	兼担	准教授	同野 一郎 (56) 《平成31年4月》 修士 (社会学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing	兼担	准教 授	岡野 一郎 (5 7) ⟨平成31年4月⟩ 修生(社会学) Integrated English Paragraph Writing Essay Writing English Reading
兼担	准教 授	飛嶋 隆信 (5 1) (平成31年4月> 修士 (学術) フランス語! フランス語! 異文化理解のためのフランス語	兼担	准教 授	飛嶋 隆信 (51) <平成31年4月> 修士(学術) フランス語! フランス語! 異文化理解のためのフランス語	兼担	准教 授	飛嶋 隆信 (5 2) 〈平成31年4月〉 修士 (学術) フランス語! フランス語! 異文化理解のためのフランス語	兼担	准教 授	飛嶋 隆信 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術) フランス語! フランス語!! 異文化理解のためのフランス語
兼担	准教授	岩田 陽子 (4 6) 〈平成31年4月〉 修士(社会科学) 多文化共生論 グローバル先端科目 ブロフェッショナル実践法 Global Communication	兼担	准教授	岩田 陽子 (4 6) 〈平成31年4月〉 修士(社会科学) 多文化共生論 グローバル先端科目 プロフェッショナル実践法 Japanees Science and Technology	兼担	准教授	岩田 陽子 (47) (平成31年4月> 修士(社会科学) 多文化共生論 グローバル先端科目 ブロフェッショナル実践法 Japanese Solence and Technology	兼担	准教授	岩田 陽子 (4 8) 〈平成31年4月〉 修士(社会科学) 多文化共生論 グローバル先端科目 プロフェッショナル実践法 Japanees Science and Technology
兼担	准教授	吉田 央 (54) <平成31年4月> 博士(農学) 共生社会政策論	兼担	准教 授	吉田 央 (54) <平成31年4月> 博士(農学) 共生社会政策論	兼担	准教授	吉田 央 (55) <平成31年4月>   申士(農学)   共生社会政策論	兼担	准教授	吉田 央 (56) <平成31年4月> 博士(農学) 共生社会政策論
兼担	准教授	渡邊 司 (6 1) < 平成31年4月 > 法学修士	兼担	准教 授	渡邊 司 (61) <平成31年4月> 法学修士 国際平和論	兼担	准教授	渡邊 司 (62) <平成31年4月> 法学修士 国際平和論	兼担	准教授	渡邊 司 (63) <平成31年4月> 法学修士 国際平和論
兼担	准教授	世界 (6 1) (6 1) (平成31年4月) 学術修士	兼担	准教 授	世界			pell loft. T - Ti and			
兼担	准教授	甲田 菜穂子 (46) <平成31年4月> 博士(人間科学) 心理学	兼担	准教 授	甲田 菜穂子 (46) (平成31年4月) 博士(人間科学) 心理学	兼担	准教 授	甲田 菜穂子 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学) 心理学	兼担	准教 授	甲田 菜穂子 (48) (平成31年4月> 博士(人間科学) 心理学
兼担	准教授	模本 弘行 (53) <平成31年4月> 博士(法学) 日本国憲法	兼担	准教 授	模本 弘行 (54) <平成31年4月> 博士(法学) 日本国憲法	兼担	准教授	校本 弘行   (55)   <平成31年4月>   博士 (法学)   日本国憲法	兼担	准教授	模本 弘行 (56) 《平成31年4月》 博士(法学) 日本国憲法
兼担	准教授	竹内 郁雄 (6 4 ) <平成31年4月> 博士 (農学)	兼担	准教 授	竹内 郁雄 (6 4) 《平成31年4月》 博士 (農学)						A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR
兼担		本郷 智子 (58) (平成31年4月> 修士 (教育学) 日本語日報 日本語上級 日本語上級 日本語上版 日本語上の Global Communication Language and Society	兼担	准教授	本郷 智子 (58) 《平成31年4月> 修士(教育学) 日本語中級 日本語上級 日本語上級 日本語と級ステップアップ Japanese Science and Technol cgy International Cooperation of	兼担	准教授	本郷 智子 (59) 〈平成31年4月〉 修士 (数育学) 日本語中級 日本語上級 日本語上級 日本語上級 Tochnology International Cooperation of Science and Technology	兼担	准教授	本郷 智子 (名 0) 《平成3 (年4月》 修士 (教育学) 日本語刊級 日本語上級 日本語上級 日本語上級 「日本語上級 「日本語」のである。 「Technology Cooperation of Science and Technology
兼担	准教授	伊藤 (早狩) 夏実 (50) < 平成31年4月> M.A.(Linguistics) (米国) 日本語物級ステップアップ 日本語中級ステップアップ Japanese Culture	兼担	准教 授	Science and Technology	兼担	准教授	Solence and Technology  伊藤(早狩) 夏実  (51)  《平成31年4月>  M.A(Linguistics)(米国) 日本語中級ステップアップ 日本語中級ステップアップ Japanese Culture	兼担	准教授	Science and Technology
兼担	准教 授	田崎 敦子 (53) <平成31年4月> 修士 (人間科学) Intercultural Communication	兼担	准教 授	田崎 敦子 (5 3) <平成31年4月> 修士 (人間科学) Intercultural Communication	兼担	准教 授	田崎 敦子 (5 4) 《平成31年4月》 修士 (人間科学) Intercultural Communication	兼担	准教 授	田崎 敦子 (5 5) <平成31年4月> 修士(人間科学) Intercultural Communication

専任・ 兼担・ 兼任		氏名(年齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏名(年齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏名(年齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏名(年齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		下田 政博 (50)			下田 政博 (50)			下田 政博 (5 1)			下田 政博 (52)
兼担	准教 授	< 平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	准教 授	< 平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	准教 授	< 平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	准教 授	< 平成31年4月> 博士 (理学) スポーツ健康科学理論 体力学実技
		   生涯スポーツ実技   川端 良子 (54)			体ガチ美技 生涯スポーツ実技 川端 良子 (54)			体ガ子美校 生涯スポーツ実技 川端 良子 (55)			   生涯スポーツ実技   川端 良子 (56)
兼担	准教 授	<平成31年4月> 博士(農学) International Cooperation of	兼担	准教 授	<平成31年4月> 博士 (農学) International Cooperation of	兼担	准教 授	<平成31年4月> 博士 (農学) International Cooperation of	兼担	准教 授	<平成31年4月> 博士(農学) International Cooperation of
		Science and Technology			Science and Technology Wuled Lenggoro (5 0)			Science and Technology Wuled Lenggoro (5 1)			Science and Technology Wuled Lenggoro (5 2)
			兼担	教授	< 平成31年4月> 博士 (工学) 工学部特別講義 I (環境科学 I)	兼担	教授	< 平成31年4月> 博士 (工学) 工学都特別講義 I (環境科学 I)	兼担	教授	<平成31年4月> 博士 (工学) 工学部特別講義 I (環境科学 I)
兼担	講師	澤 佳成 (40) <平成31年4月>	兼担	講師	澤 佳成 (40) <平成31年4月>	兼担	講師	澤 佳成 (41) <平成31年4月>	兼担	講師	澤 佳成 (42) <平成31年4月>
		博士 (学術) 生命倫理 哲学 畠中 (佐藤) 英里			博士(学術) 生命倫理 哲学			博士 (学術) 生命倫理 哲学			哲学
兼担	講師	畠中(佐藤) 英里 (40) <平成31年4月> 博士(理学)									
		微分積分学工および演習 古矢 晋一 (42)			古矢 晋一 (42)						
兼担	講師	<平成31年4月> Dr.phil. (ドイツ) ドイツ語I	兼任	講師	<平成31年4月> Dr.phil. (ドイツ) ドイツ語I						
		ドイツ語 I I 異文化理解のためのドイツ語	-					LUKAS RIESER	-		LUKAS RIESER
						兼担	講師	(36) <令和2年4月> 博士(文学)	兼担	講師	(37) <令和2年4月> 博士(文学)
						AK JE	187-0-7	ドイツ語! ドイツ語!! 異文化理解のためのドイツ語	AL IE		ドイツ語I ドイツ語II 異文化理解のためのドイツ語
兼担	講師	竹本 太郎 (45) <平成31年4月>	兼担	講師	竹本 太郎 (45) <平成31年4月>	兼担	講師	竹本 太郎 (46) <平成31年4月>	兼担	講師	竹本 太郎 (47) <平成31年4月>
NK JE	D1-3 12-17	博士 (農学) 社会学 安村 友紀	ALJE.	D1-3 L1-14	#± (農学)   社会学   安村 友紀	AL JE	D1-2 L11	博士 (農学) 社会学 安村 友紀	N/JE	D1-3 L1-14	*******
兼担	講師	(4 1) <平成31年4月> Ph.D. in Plant Sciences(英国)	兼担	講師	(4 1) <平成31年4月> Ph. D. in Plant Sciences(英国)	兼担	講師	(4 2) 〈平成31年4月〉 Ph.D. in Plant Sciences(英国)	兼担	講師	(43) <平成31年4月> Ph.D. in Plant Sciences(英国)
		農工協働科目			農工協働科目 陳 <b>奕廷</b> (37)			農工協働科目 陳 <b>奕廷</b> (38)			農工協働科目 陳 <b>奕廷</b> (39)
			兼担	講師	<平成31年4月> 博士(文学) Integrated English	兼担	講師	<平成31年4月> 博士 (文学) Integrated English	兼担	講師	<平成31年4月> 博士(文学) Integrated English
		岩見 雅人			Paragraph Writing Essay Writing English Reading 岩見 雅人			Paragraph Writing Essay Writing English Reading 岩見 雅人			Paragraph Writing Essay Writing English Reading 岩見 雅人
兼担	助教	石兒 雅人 (37) <平成31年4月> 博士 (体育科学)	兼担	助教	石兒 雅八 (37) <平成31年4月> 博士(体育科学)	兼担	助教	石兒 雅人 (38) <平成31年4月> 博士(体育科学)	兼担	助教	石兒 雅人 (39) <平成31年4月> 博士(体育科学)
NA II	20.17	スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	NA.	23.12	スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	NO 12	20.10	スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技	NA.	2332	スポーツ健康科学理論 体力学実技 生涯スポーツ実技
		福本 寛之 (30) <平成31年4月>			福本 寛之 (30) <平成31年4月>			福本 寛之 (31) <平成31年4月>			福本 寛之 (32) <平成31年4月>
兼担	助教	博士(体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	助教	博士(体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	助教	博士(体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技	兼担	助教	博士(体育科学) スポーツ健康科学理論 体力学実技
	3	生涯スポーツ実技 ONWONA-AGYEMAN SIAW (55)		H=	生涯スポーツ実技 ONWONA-AGYEMAN SIAW (55)		F	生涯スポーツ実技 ONWONA-AGYEMAN SIAW (56)		H.E.	生涯スポーツ実技 ONWONA-AGYEMAN SIAW (57)
兼担		<平成31年4月> 博士 (農学) Paragraph Writing English Discussion	兼担	外国 人語 学教 員	<平成31年4月> 博士 (農学) Paragraph Writing English Discussion	兼担	外国 人語 学教 員	<平成31年4月> 博士(農学) Paragraph Writing English Discussion	兼担	外国 人語 学教 員	<平成31年4月> 博士(農学) Paragraph Writing English Discussion
	*	English Discussion English Presentation Academic Reading HURLING STEPHEN JOHN	<u> </u>	, ,4	English Presentation Academic Reading		*	English Discussion English Presentation Academic Reading		,,,	English Drecestion English Presentation Academic Reading
		(4 2) <平成31年4月> M.A in English Language and									
兼担	学教	Literature(英国) Paragraph Writing English Discussion									
	員	Essay Writing English Presentation English Reading									
		Academic Reading Academic Communication			Erik Fritz			Erik Fritz			Erik Fritz
				外国人籍	(40) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) Paragraph Writing		外国 人語	(41) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) Paragraph Writing		外国人語	(42) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) Paragraph Writing
			兼担	人語学教員	Paragraph Writing English Discussion Essay Writing English Presentation	兼担	学教員	raragraph Writing English Discussion Essay Writing English Presentation	兼担	学教員	English Discussion Essay Writing English Presentation
		岡山 隆之	<u> </u>		Engish Presentation Academic Reading Academic Communication 岡山 隆之			Academic Reading Academic Communication			Academic Reading Academic Communication
		(67) <平成31年4月> 農学博士			(67) <平成31年4月> 農学博士						
兼担		標準化 3大学協働基礎ゼミ グローバル展開特別科目(特別講	兼担	副学 長	標準化 3大学協働基礎ゼミ						
		義) グローバル展開特別科目(特別講 義)			三大学連携特別議義 I 三大学連携特別議義 II						
								-			

専任・ 兼担・ 兼別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	副学長	(59) <平成31年4月> <u>農学博士</u> 標準化 3大学協働基礎ゼミ 三大学連携特別課義 I	兼担	副学	(60) <平成31年4月> <u>農学博士</u> 標準化 3大学協働基礎ゼミ 三大学連携特別課義 I
			兼任	講師	伊藤 輝将 (38) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	三大学連携特別議義I 伊藤 類将 (39) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	三大学連携特別講義 I 伊藤 類特 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (工学) 電磁気学経験
					<b>国 (横) ( ) ( )</b>			■ 観示子報■	兼任	シニアロフェッ	国
兼任	講師	枝元 良広 (53) <平成31年4月> 博士(医学) 臨床医学概論※	兼任	講師	枝元 良広 (53) <平成31年4月> 博士(医学) 臨床医学概論※	兼任	講師	枝元 良広 (54) <平成31年4月> 境士(医学) 臨床医学概論※	兼任	講師	枝元 良広 (55) <平成31年4月> 博士(医学) 鹽床医学概論※
兼任	講師	佐藤 信吾 (43) (平成31年4月> 博士(医学) 臨床医学基礎Ⅱ	兼任	講師	佐藤 信吾 (43) <平成31年4月> 博士 (医学) 臨床医学基礎Ⅱ	兼任	講師	佐族 信吾 (4 4) 《平成31年4月》 博士(医学) 臨床医学基礎Ⅱ	兼任	講師	佐藤 信吾 (45) 《平成31年4月》 博士(医学) 臨床医学基礎Ⅱ
兼任	講師	澤田 伸晴 (4 2) <平成31年4月> 博士(理学) 微分積分学 I および演習			西村 滋人			西村 滋人			西村 滋人
			兼任	講師	(51) (51) (平成31年4月) 博士(理学) 微分雑分学 I および渡晋 大久保 直人	兼任	講師	(52) (52) (平成31年4月) 博士(理学) 微分種分学 I および演習 大久祭 直人	兼任	講師	(53) (53) (平成31年4月) (株士(選挙) (株分養分学1および演習 大久保 直人
		與口 卓志	兼任	講師	(30) <平成31年4月> 博士(数理科学) <b>微分権分学Ⅱおよび適習</b> 與口 卓志	兼任	講師	(31) 《平成31年4月》 博士、報理科学) 養分積分学 I および漢曹 與口 卓志	兼任	講師	(32) <平成31年4月> 博士(数理科学) <b>微分権分学Ⅱおよび連習</b> 與口 卓志
兼任	講師	(37) <平成31年4月> 博士(理学) 線形代数学Ⅱ	兼任	講師	(37) 〈平成31年4月〉 博士(理学) 線形代数学Ⅱ	兼任	講師	(38) <平成31年4月> 博士(理学) 線形代数学Ⅱ 鈴木 良一	兼任	講師	(39) <平成31年4月> 博士(理学) 線形代数学I
					加藤 永子 (42)	兼任	講師	(36) < 令和2年4月> 博士(理学) 數理統計学 加藤 永子 (43)	兼任	講師	(37) <令和2年4月> 博士(理学) 數理統計学 加藤 永子 (44)
		横谷明徳	兼任	講師	マース31年4月> 博士 (医学) 生理学 横谷 明徳	兼任	講師	マ (	兼任	講師	マルズ31年4月> 博士 (医学) 生理学 横谷 明徳
兼任	講師	(57) (57) (平成31年4月> 博士(理学) 生物学	兼任	講師	(57 97 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67	兼任	講師	(58) (58) (758) (平成31年4月> 博士 (理学) 生物学	兼任	講師	(59) (59) (平成31年4月) 博士(理学) 生物学
					±4 *			40. 15	兼任	講師	(40) <令和3年4月> 修士(人文科学) 生命倫理
兼任	講師	大倉 茂 (3 6) <平成31年4月> 博士 (学術) 現代倫理論	兼任	講師	大倉 茂 (36) (平成31年4月> 博士 (学術) 現代倫理論	兼任	講師	大倉 茂 (37) <平成31年4月> 博士(学術) 現代倫理論	兼任	講師	大倉 茂 (38) 《平成31年4月》 博士(学術) 現代倫理論
			兼任	講師	(65) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)						
						兼任	講師	永野 寬 (5 5) <令和2年4月> 経済学修士 経済学	兼任	講師	永野 寬 (56) (令和2年4月> 経済学修士 経済学
		<b>主</b> :6	兼任	講師	岩崎 舊 (4 1) <平成31年4月> 博士(社会学) 現代倫理論	兼任	講師	岩崎 曹 (4 2) 《平成31年4月》 博士(社会学) 現代倫理論	兼任	講師	岩崎 茜 (4 3) 《平成31年4月》 博士 (社会学) 現代倫理論
兼任	講師	春近 敬 (40) (40) 《平成31年4月》 博士(文学) 現代宗教論 三浦 周	兼任	講師	春近 敬 (40) 《平成31年4月》 博士(文学) 現代宗教論 三浦 周	兼任	講師	春近 敬 (4 1) < 平成31年4月> 博士 (文学) 現代宗教論 三浦 周	兼任	講師	春近 敬 (42) 《平成31年4月》 博士 (文学) 現代宗教論 三浦 周
兼任	講師	二州 同 (42) <平成31年4月> 博士(仏教学) 現代宗教論 福島 康博	兼任	講師	三州 月 (42) 〈平成31年4月〉 博士 (仏教学) 現代宗教論 福島 康博	兼任	講師	二州 周 (43) 〈平成31年4月〉 博士(仏教学) 現代宗教論 福島 康博	兼任	講師	二/// (4 4 ) (4 4 ) <平成31年4月> 博士(仏教学) 現代宗教論 福島 康博
兼任	講師	(45) 《平成31年4月》 博士(学術) 多文化共生論 布施 元	兼任	講師	(45) 《平成31年4月》 博士(学術) 多文化共生論 布施 元	兼任	講師	(4 6) (4 6) (平成31年4月> 博士(学術) 多文化共生論 布施 元	兼任	講師	Tam (4 7) (4 7) 《平成31年4月》 博士(学術) 多文化共生論
兼任	講師	(37) (37) (平成31年4月> 博士(学術) 哲学	兼任	講師	(37) <平成31年4月> 博士(学術) 哲学	兼任	講師	(38) <平成31年4月> 博士(学術) 哲学			<b>十年</b>
兼任	講師	大野 松彦 (47) <平成31年4月> 博士(美術) 文学・芸術学	兼任	講師	大野 松彦 (47) <平成31年4月> 博士(美術) 文学・芸術学 中村 美智太郎	兼任	講師	大野 松彦 (48) 《平成31年4月》 博士(美術) 文学・芸術学 中村 美智太郎	兼任	講師	大野 松彦 (49) (平成31年4月> 博士(美術) 文学・芸術学
			兼任	講師	中刊 表情人即 (43) 〈平成31年4月〉 博士(義術) 文学・萎術学	兼任	講師	中代 天言人中 (44) (平成31年4月> 博士(美術) 文学・基備学			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 間 美芳 (4 1) <平成31年4月>	兼任	講師	担当授業科目名 間 美芳 (41) <平成31年4月>	兼任	講師	担当授業科目名 間 美芳 (42) <平成31年4月>	兼任	講師	担当授業科目名 閻 美芳 (43) <平成31年4月>
兼任	講師	博士(人間科学) 社会学 中込 律子 (62) <平成31年4月>	兼任	講師	博士(人間科学) 社会学 中込 律子 (62) <平成31年4月>	兼任	講師	博士(人間科学) 社会学 中込 律子 (63) <平成31年4月>	兼任	講師	博士(人間科学) 社会学 中込 律子 (64) <平成31年4月>
兼任	講師	博士 (史学)  歴史学  中根 美知代 (61)  <平成31年4月>	兼任	講師	博士 (史学)  歴史学  中根 美知代 (61)  <平成31年4月>	兼任	講師	博士(史学) <u>歴史学</u> 中根 美知代 (62)  <平成31年4月>	兼任	講師	博士 (史学)  歴史学  中根 美知代 (63)  <平成31年4月>
兼任	講師	博士 (学術) 科学史 坪井 秀夫 (60) <平成31年4月>	兼任	講師	博士 (学術) 科学史 坪井 秀夫 (60) <平成31年4月>	兼任	講師	博士 (学術) 科学史 坪井 秀夫 (61) <平成31年4月>	兼任	講師	博士 (学術) 科学史 坪井 秀夫 (62) <平成31年4月>
兼任	講師	博士 (工学) 技術者倫理 瀬津 太朗 (53) (下成31年4月> 学士 (農学)	兼任	講師	博士 (工学) 技術者倫理 瀬津 太朗 (5 3) 〈平成31年4月〉 学士 (農学)			博士 (工学) 技術者倫理			博士 (工学) 技術者倫理
		チュ (辰子) 知的財産権・特許法			チュ (辰子) 知的財産権・特許法	兼任	講師	佐々木 良枝 (5 4) 〈令和2年4月〉 工学士	兼任	講師	佐々木 良枝 (55) 〈令和2年4月〉 工学士
兼任	講師	字佐見 英美子 (56) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	字佐見 英美子 (56) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	<b>知的財産権・特許法</b> 宇佐見 英美子 (5 7) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	知的財産権・特許法 宇佐見 英美子 (58) <平成31年4月> 文学修士
		Integrated English Paragraph Writing 鈴木 光晴 (3.8) <平成31年4月> 修士(英文学)	-		Integrated English Paragraph Writing 鈴木 光晴 (3.8) <平成31年4月> 修士(英文学)			Integrated English Paragraph Writing 鈴木 光晴 (3.9) 〈平成31年4月〉 修士(英文学)			Integrated English Paragraph Writing 鈴木 光晴 (4 0) <平成31年4月> 修士(英文学)
兼任	講師	Integrated English Paragraph Writing English Exam Preparation Course I Terence Cooney	兼任	講師	Integrated English Paragraph Writing English Exam Preparation Course I Terence Cooney	兼任	講師	Integrated English Paragraph Writing English Exam Preparation Course I Terence Cooney	兼任	講師	Integrated English Paragraph Writing English Exam Preparation Course I Terence Cooney
兼任	講師	(6 2) 〈平成31年4月〉 M. A. (Applied Linguistics) (英国) English Discussion	兼任	講師	(62) 〈平成31年4月〉 M. A. (Applied Linguistics) (英国) English Discussion	兼任	講師	(63) 〈平成31年4月〉 M.A. (Applied Linguistics) 〈英国) English Discussion	兼任	講師	(6 4) 〈平成31年4月〉 M. A. (Applied Linguistics) (英国) English Discussion
兼任	講師	English Presentation Tamara Eldridge	兼任	講師	English Presentation Tamara Eldridge (46) <平成31年4月> 教育学修士 English Discussion	兼任	講師	English Presentation Tamara Eldridge (47) <平成31年4月> 教育学修士 English Discussion	兼任	講師	English Presentation Tamara Eldridge (48) <平成31年4月> 教育学修士 English Discussion
兼任	講師	English Presentation HIGUCHI Sonia (50) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	English Presentation HIGUCHI Sonia (50) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	English Presentation HIGUCHI Sonia (5 1) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	English Presentation HIGUCHI Sonia (52) <平成31年4月> 文学修士
兼任	講師	English Discussion English Presentation Kent Hill (58) <平成31年4月>	兼任	講師	English Discussion English Presentation Kent Hill (58) <平成31年4月>	兼任	講師	English Discussion English Presentation Kent Hill (59) <平成31年4月>	兼任	講師	English Discussion English Presentation Kent Hill (60) <平成31年4月>
		Ph.D. (英国) English Discussion English Presentation Mark Koprowski (4.9) <平成31年4月>			Ph.D. (英国) English Discussion English Presentation Mark Koprowski (4.9) <平成31年4月>			Ph.D. (英国) English Discussion English Presentation Mark Koprowski (50) <平成31年4月>			Ph.D. (英国) English Discussion English Presentation Mark Koprowski (51) <平成31年4月>
兼任	講師	M.A. in TEFL/TESL (英国) English Discussion English Presentation Patricia McGahan (60)	兼任	講師	M.A. in TEFL/TESL (英国) English Discussion English Presentation Patricia McGahan (60)	兼任	講師	M.A. in TEFL/TESL (英国) English Discussion English Presentation Patricia McGahan (6 1)	兼任	講師	M.A. in TEFL/TESL (英国) English Discussion English Presentation Patricia McGahan (62)
兼任	講師	<平成31年4月> B.A(米国) English Discussion English Presentation Brooks Slaybaugh	兼任	講師	<平成31年4月> B.A(米国) English Discussion English Presentation Brooks Slaybaugh	兼任	講師	<平成31年4月> B.A(米国) English Discussion English Presentation Brooks Slaybaugh	兼任	講師	<平成31年4月> B.A(米国) English Discussion English Presentation Brooks Slaybaugh
兼任	講師	FOURS STAYDAUGH (48) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) English Discussion English Presentation	兼任	講師	(48) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) English Discussion English Presentation	兼任	講師	(49) <平成31年4月> M.A in TESOL (米国) English Discussion English Presentation	兼任	講師	FOOKS STAYDAUGH (50) (平成31年4月> M.A in TESOL (米国) English Discussion English Presentation
兼任	講師	佐藤 牧子 (4 6) (平成31年4月> 博士(文学) Essay Writing English Reading English Exam Preparation Course II	兼任	講師	佐藤 牧子 (46) (平成31年4月> 博士 (文学) Essay Writing English Reading	兼任	講師	佐藤 牧子 (47) (平成31年4月> 博士(文学) Essay Writing English Reading	兼任	講師	佐藤 牧子 (4-8) 〈平成31年4月〉 博士 (文学) Essay Writing English Reading
兼任	講師	山口 高嶺 (47) (平成31年4月> <u>修士 (教育学)</u> Essay Writing English Reading English Exam Preparation Course I English Exam Preparation	兼任	講師	山口 高嶺 (47) <平成31年4月> 修工(教育学) Essay Writing English Reading	兼任	講師	山口 高嶺 (4 8) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) Essay Writing English Reading	兼任	講師	山口 高嶺 (49) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学) Essay Writing English Reading
兼任	講師	Course II 安達 洋 (5 4) <平成31年4月> M.A. in ItSOL(米国) English Exam Preparation Course II English Exam Preparation Course III	兼任	講師	安達 洋 (5 4) <平成31年4月> M.A. in ITSOL(米国) English Exam Preparation Course III	兼任	講師	安達 洋 (55) <平成31年4月> M.A. in TESOL (米国) English Exam Preparation Course III	兼任	講師	安達 洋 (56) <平成31年4月> M.A. in ITSOU (米国) English Exam Preparation Course III

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名  松尾 英俊 (53) 《平成31年4月> 教育学修士 English Exam Preparation Course II English Exam Preparation Course III	兼任	講師	担当授業科目名  松尾 英俊 (53) 《平成31年4月> 教育学修士 English Exam Preparation Course II	兼任	講師	担当授業科目名  松尾 英俊 (5 4) 《平成31年4月> 教育学修士 English Exam Preparation Course II	兼任	講師	担当授業科目名  松尾 英俊 (55) (平成31年4月> 教育学修士  English Exam Preparation Course II
		000100 111	兼任	講師	石神 圭子 (4 1) 〈平成31年4月〉 法学博士 English Exam Preparation Course I						
			兼任	講師	久保 岳 (38) <平成31年4月> 後土(教育学) English Exam Proparation Course I English Exam Preparation Course II	兼任	講師	久保 岳 (39) 〈平成31年4月〉 卷士 (數實學) English Exam Proparation Course I English Exam Preparation Course II	兼任	許師	久保 岳 (40) 〈平成31年4月〉 传士 (數實學) English Exam Proparation Course I English Exam Preparation Course II
			兼任	講師	本澤 利英子 (38) 〈平成31年4月〉 修士(數章学) English Exam Preparation Course I English Exam Preparation Course II	兼任	講師	本澤 利美子 (39) 〈平成31年4月〉 修士(數章学) English Exam Preparation Course I English Exam Preparation Course II	兼任	許師	本澤 利英子 (40) 《平成31年4月》 楼士 (數育学) English Exam Preparation Course I English Exam Preparation Course II
			兼任	講師	川本 清凡 (2.8) 〈平成31年4月〉 宣語学修士 English Exam Preparation Course I	兼任	講師	川本 渚凡 (2 9) 〈平成31年4月〉 宣語学修士 English Exam Preparation Course I			
						兼任	講師	標本 信一 (49) <令和2年4月> 修士(外国函數實數授法) English Exam Preparation Course I	兼任	講師	標本 信一 (50) <令和2年4月> 修士(外国部後育教授法) English Exam Preparation Course I
						兼任	講師	達岡 健志朗 (29) 〈令和2年4月> 修士(文学) English Exam Proparation Course 1	兼任	計師	達岡 健志朗 (30) <令和2年4月> ————————————————————————————————————
									兼任	計師	青田 庄真 (30) <令和3年4月> 修士(教育学) English Exam Preparation Course I
兼任	講師	国田 裕 (58) 〈平成31年4月〉 文学修士 ドイツ語1 ドイツ語1	兼任	講師	国田 裕 (58) 〈平成31年4月〉 文学修士 ドイツ語II	兼任	講師	国田 裕 (59) <平成31年4月> 文学修士 ドイツ語1 ドイツ語1			
			兼任	講師	二藤 拓人 (2 9) 〈平成31年4月〉 徳士 (文学) ドイツ語  異文化理解のためのドイツ語						
兼任		渋下 賢 (48) <平成31年4月> 修士 (学術) スペイン語1 スペイン語1 異文化理解のためのスペイン語	兼任	講師	渋下 賢 (48) <平成31年4月> 修士 (学術) スペイン語I スペイン語II 異文化理解のためのスペイン語	兼任	講師	渋下 賢 (49) <平成31年4月> 修士 (学術) スペイン語I スペイン語II 異文化理解のためのスペイン語	兼任	講師	渋下 賢 (50) <平成31年4月> 修士(学術) スペイン語1 スペイン語1 異文化理解のためのスペイン語
兼任	講師	南 勇 (6 1) (6 1) <平成31年4月> 博士(学術) 中国語! 中国語!!	兼任	講師	南 勇 (61) <平成31年4月> 博士 (学術) 中国語I 中国語II 異文化理解のための中国語	兼任	講師	南 勇 (62) (62) <平成31年4月> 博士(学術) 中国語! 中国語!	兼任	講師	南 勇 (63) <平成31年4月> 博士 (学術) 中国語! 中国語! 異文化環係のための中国語
兼任	講師	黄 麗華 (61) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語I 中国語II	兼任	講師	黄 麗華 (61) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語! 中国語!	兼任	講師	黄 麗華 (62) <平成31年4月> 修生(文学) 中国語1 <b>東文化理解のための中国語</b>	兼任	講師	黄 麗華 (63) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語! 中国語!
								THE STATE OF THE S	兼任	講師	李 雪 (36) (36) (令和3年4月> 博士(教育学) 中国語!!
兼任	講師	竹林 忠吉 (57) 《平成31年4月》 博士(理学) 線形代数学1	兼任	講師	竹林 忠吉 (57) 《平成31年4月》 博士(理学) 線形代数学1						
兼任	講師	岡 泰資 (56) (56) (平成31年4月) 博士(工学) 安全工学 深沼 光	兼任	講師	岡 泰資 (5 6) ⟨平成31年4月⟩ 博士(工学) 安全工学 深沼 光	兼任	講師	岡 泰資 (5 7) <平成31年4月> 博士 (工学) 安全工学	兼任	講師	岡 泰袞 (58) <平成31年4月> 博士(工学) 安全工学 深沼 光
兼任	講師	深沿 光 (54) (54) 〈平成31年4月〉 MBA (米国) ベンチャービジネス論	兼任	講師	深沼 光 (5 4) <平成31年4月> MBA (米国) ベンチャービジネス論	兼任	講師	深沼 光 (55) <平成31年4月> MBA (米国) ベンチャービジネス論	兼任	講師	深沼 光 (56) (56) 〈平成31年4月〉 MBA (米国) ベンチャービジネス論 吉村 隆一郎
									兼任	講師	日刊 (産ー型) (62) <令和3年4月> 電気工学士 マーケティング

専任・ 兼担・ 衆兄 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専兼兼の	任・ 担任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任		原田 奈穂子 (57) <平成31年4月> 修士(異文化コミュニケーション) English Exam Preparation Course I										
兼任		奥野 晶子 (55) 《平成31年4月》 文学修士 English Exam Preparation Course I										
兼任		野中 大輔 (33) <平成31年4月> 修士(文学) English Exam Preparation Course 1	兼任	壬 講師	野中 大輔 (33) <平成31年4月> 修士(文学) English Exam Preparation Course I							
兼任		松中 義大 (48) <平成31年4月> 修士(教育学) English Exam Preparation Course I										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て、兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**服可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年齢**を記入してください。
  ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

・平成30年12月栁澤(藤原) 実穂准教授辞職。	
【令和2年度】	
・令和元年12月生嶋健司教授昇任。	
[- [- ] - ] - [-	
【令和3年度】	
・令和2年10月小原祐樹助教任期満了。	

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C 教員審査)を受けてください。**A C 教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

# (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

# (2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況			
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')	
7	6	1	2	16	0	8	4	1	1	14	0	
(7)	(5)	(1)	(2)	(15)	0							
	現在(	報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')	
8	4	1	2	15	0	8	5	1	2	16	0	
[1]	[△2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[△1]	[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
    - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

# (2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

<u>現在(報告時)の完成年度時の状況(C)</u> = <u>15</u> 93.75 % 98.75

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) = 0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況( $\mathbf{C}$ ') = 0 = #DIV/0! % 数置時の計画( $\mathbf{A}$ ') = 0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退 (未就任) の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担	当予定科目	1	後任:	補充状	況	京	优辞退	(未	就任)の理	由				
						選択	連続体	本物理			1										
						選択	化学物	勿理			1										
						選択	生体	医用工学 I	*		1		7								
						選択	科学药	英語ゼミ			1										
						選択															
						選択	特別も	ťミⅡ													
						必修	生体医用	システム工学実	I験 I		1										
l 1	1	准制	数捋	柳澤(藤原) 実穂	H30. 12	必修	生体医用	システム工学実	H30 12転出	のためま	计任码	注很 (元)									
l '		, III 3	×1×	1/1/4 (/Jak/JA/) X183	1100. 12	必修 生体医用システム工学特別演習 [ 1]										F.Z. (70)					
						必修	生体医用:	ンステム工学特別演	習Ⅱ		1										
						必修	生体医用:	用システム工学特別実験 I ①													
						必修	1	ンステム工学特別実			1										
						必修		室体験配属			1										
						必修	卒業部	<b>美論文</b>		1											
						必修	工学基	基礎実験		1											
						選択	研究イ	ンターンシッ	ップ		1										
				合計	(D)							往	<b>长任補充状況</b>	の集計	(E)						
	京	忧任	を辞	退した教員数	担当科目	割数の合計	(a) + (	(b) + (c)	(1	の合計	数(a)	)	②の合計	数 (b)		③の合計	数	(c)			
	_				必	修	9	科目	ý.	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	Ī .	0	科目		
					選	択	7 科目		ě	€択	7	科目	選択	0	科目	選択		0	科目		
		1 人 自由		由	0	科目	É	由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目				
					Ī	†		計	16	科目	計	0	科目	計		0	科目				

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

# (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	1 1	き 任 さんきょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	補充状	況		括	辛任等σ.	理由			
				選択	科学	英語ゼミ			1								
				選択	特別	ゼミI			1								
				選択	特別	ゼミⅡ			1								
				必修	生体医	用システム工学実	E験 I		1								
				必修	生体医	用システム工学実	エ験 Ⅱ		1								
1	助教	小原 祐樹	R2. 10	必修	生体医用	システム工学特別派	[晋]		1		R2.10任期清	ŧマのも	よりはは	(2)			
'	助软	小水 和倒	K2. 10	必修	生体医用	システム工学特別派	田田		1		NZ. 10 11	] ] 0)/:	のが土地	(3)			
				必修	生体医用	システム工学特別実	験Ⅰ		1								
				必修	生体医用	システム工学特別実	験Ⅱ		1								
				必修	研究	室体験配属			1								
				必修	卒業	卒業論文		1									
				必修 工学基礎実				1									
		合計	(F)							往	<b>後任補充状況</b>	住補充状況の集計(G)					
	辞任	した教員数	担当科目	関数の合計	(a) +	(b) + (c)	<u></u> ①の	合計	数 (a)	)	②の合計	大数 (b	)	③の合計	十数 (c	)	
			必	修	9	科目	必修		9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			選	択	3	科目	選択		3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	1	人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
	計				12	科目	計		12	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - 専任教員が担当する(している)場合は「①」 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	後任補充状況の集計(E)+(G)												
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (					†数(d	3)			
		必修	18	科目	必修	18	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	0	科目

# (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	2	_	10 F	n/
(2)-②設置時の計画(A)	-	16		12.5	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
  - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充状況			辞任等の理由						
				該当なし													
										-							
				f	計			後任補充状況の集計									
		辞	€ℓℓ	<b>した教員数</b>	担当科目数の合語	† (a) +	(p) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)						0)			
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
			0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) · <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の就任辞退後及び辞任後の予定科目については既存の専任教員が担当するため影響はない。 学生には履修案内・時間割・掲示板等にて周知している。	

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認可時	該当なし			
(平成30年)				
設置計画履行状況 調 査 時 (元年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (2年)	該当なし			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を

# 7 その他全般的事項

<工学部 生体医用システム工学科>

# (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例)	
① 修了要件単位数	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科
124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位	目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)
② 施設・設備 該当	なし 学環境を改善するため、講義室、自習室を
a 講義室〇室(〇㎡)	それぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊
b 自習室〇室(〇㎡)	増書した。
c 図書〇〇冊	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)
- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況

グローバル教育院で起案、全学「教育・学生生活委員会」で審議して実施を決定

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月1回
- c 委員会の審議事項等 FDの目的、内容、実施方法について
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - ・新任教員に対する自校理解、授業方法の研修
    - ・英語で講義を行う教員向けの研修
    - ・「オンライン授業」に関する講習会
    - ・「障害者差別解消法」の解説と障害のある学生に対する支援
    - ・ハラスメント防止のための研修
  - b 実施方法
    - ・全学の教員対象の内容の場合は、教授会の開催前後の時間もしくはオンラインで実施。
    - ・特定の教員対象の研修については、該当教員を招集もしくはオンラインで実施。
  - c 開催状況 (教員の参加状況含む)
    - ・ハラスメント防止のための研修をオンラインで実施し、参加者から好評を得た。
    - ・特定の教員対象の研修については、グループワーク等の参加型研修を行い、参加者からは好評を得た。
  - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
    - ・今後も引き続き積極的にFDを推進していく。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

前学期、後学期の2回実施している。(一部、4学期制に対応している)

- b 教員や学生への公開状況,方法等 集計した結果については、担当科目の教員にフィードバックを行い、必要に応じて個別対応を行っている。 学生に対しては全体の集計結果をホームページで公開している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- ① 体制
  - a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してくたます。 あることを説明してください。併せ1

該当なし

場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成で ドが分かるよう加筆の上、提出してください。)

- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
  c 委員会の審議事項等
  d その他
  2 審議状況
  a 審議した内容
  - 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
  - ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
  - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
  - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

# (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。また、今後も設置の趣旨及び目的の達成に向けて教育研究活動を実施することとしている。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ・令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書〔中期目標・中期計画の進行状況等に係る自己点検・評価書〕を、令和3年11月に公表予定。
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開。
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・令和3年度に大学基準協会の獣医学教育評価を受審する予定。
  - ・機関別認証評価については、令和9年度までに受審することを予定。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

〇 設置	置計画履行状況報告	書(令和3年度)	
a 1	公表予定の有無	[ 有 · 無 ]	
≪aで	「有」の場合≫		
b 1/2	公表(予定)時期	[⟨調査結果公表後1ヶ月以内⟩・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降	)
c 1	公表方法	〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他(	)
≪ a で1⁄2	公表「無」の場合≫		
d 1/2	公表しない理由	[	)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# ○東京農工大学グローバル教育院運営規則

(平成30年4月1日グ教規則第1号)

改正 平成31年4月1日グ教規則第1号 令和3年4月1日規程第15号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人東京農工大学組織運営規則第5条の2及び第8条に基づき、東京農工大学グローバル教育院(以下「教育院」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 教育院は、国際教育交流に関する全学的事業の推進及び支援、教養教育の企画及び実施、入試戦略及び支援、その他全学に係る教育に関する業務を実施するための組織として、東京農工大学での教育活動を通して、農学又は工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できる人材を育成することを目的とする。

(事業)

- 第3条 教育院は、次の各号に掲げる事業を行う。
  - (1) 国際教育交流プログラムの企画・運営・実施、海外の大学との国際共同プログラムの確立及び海外の姉妹校との連携強化の取組に関すること。
  - (2) グローバル教養教育の方針策定・企画・運営・実施、学生の英語力向上支援、教育評価及びファカルティディベロップメント(FD)の実施に関すること。
  - (3) 入試出題管理体制の支援、入試に関する諸事項の調査・解析、入試方法の改善・立案並びに入試広報・国際広報の企画及び実施に関すること。
  - (4) その他学長又はグローバル教育院長(以下「教育院長」という。)が必要と認めた 事業に関すること。

(教育院長)

- 第4条 教育院長は、教育院の業務を掌理する。
- 2 教育院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 教育院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、教育院長の任期の末日は、当 該教育院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。
- 4 教育院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の教育院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(副院長)

- 第5条 教育院に、グローバル教育院副院長(以下「副院長」という。)を置く。
- 2 副院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 副院長は、教育院長を補佐し、教育院長に事故あるときは、その職を代行する。
- 4 副院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その任期の末日は、当該副院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。

5 副院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の副院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第6条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員を置く。 (兼務教員)

- 第7条 教育院に、専任教員と協力して第3条各号に掲げる事業を実施するため、農学研究院又は工学研究院を本務としたまま教育院を兼ねて務める教員(以下「兼務教員」という。)を置く。
- 2 兼務教員は、農学研究院又は工学研究院の推薦を受け、次条に規定するグローバル教育院運営委員会の議を経て、学長が発令する。
- 3 兼務教員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 兼務教員が任期の途中で欠けた場合には、後任の兼務教員の任期は、次条に規定する グローバル教育院運営委員会が個別に定めるものとする。

(運営委員会)

- 第8条 教育院の事業の運営のため、グローバル教育院運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置き、次の各号に掲げる事項を審議する。
  - (1) 教育院の組織に関する事項
  - (2) 教育院の人事に関する事項
  - (3) 教育院の予算に関する事項
  - (4) 教育院の計画及び評価に関する事項
  - (5) その他教育院長が必要と認めた事項
- 2 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。
  - (1) 教育院長
  - (2) 副院長
  - (3) 次条第2項に規定する部会長
  - (4) 第10条第2項に規定するグループ長
  - (5) その他教育院長が必要と認めた者
- 3 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、教育院長をもって充て、副委員長は、副院長をもって充てる。
- 4 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長が必要と認めた場合は、副院長が委員長を代理し、運営委員会を招集し、その議長となることができる。
- 5 運営委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 6 運営委員会の議事は、別に定めのある事項を除き、出席委員の過半数の賛成をもって 決するものとする。
- 7 運営委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

- 第9条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を部局等と連携して企画・立案するため、次 の各号に掲げる部会(以下「部会」という。)を置く。
  - (1) 国際教育交流プログラム部会
  - (2) 教養・専門基礎教育部会
  - (3) 入試検討部会
- 2 部会に、部会長を置く。
- 3 部会長は、兼務教員又は専任教員の中から教育院長が指名する。
- 4 部会について必要な事項は、別に定める。 (グループ)
- 第10条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員が所属する次の 各号に掲げるグループ(以下「グループ」という。)を置く。
  - (1) 海外リエゾングループ
  - (2) グローバル教養教育グループ
  - (3) アドミッション・専門基礎教育グループ
- 2 グループに、グループ長を置く。
- 3 グループ長は、専任教員の中から教育院長が指名する。
- 4 グループについて必要な事項は、別に定める。

(選考委員会)

- 第11条 教育院に、第8条第1項第2号に基づく教育院の専任教員の選考について審議するため、選考委員会を置く。
- 2 前項に規定する選考委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第12条 教育院に関する事務は、関係部局の協力を得て、学務部学務課及び学務部入試 企画課において処理する。

(雑則)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、教育院の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年4月1日グ教規則第1号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和3年4月1日規程第15号)

この規程は、令和3年4月1日から施行する。